



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和5年度

西国東海岸保全事業

第3工区堤防法面被覆工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
西国東海岸保全事業所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

事業名	西国東海岸保全事業
工事名	第3工区堤防法面被覆工事

工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			133,200,000	
・工事原価			113,995,000	
純工事費			91,946,000	
・直接工事費			84,534,000	
・直接工事費(仮設工を除く)	1.000	式	82,031,000	
・直接工事費(仮設工)	1.000	式	2,503,000	
・間接工事費			29,461,000	
・共通仮設費			7,412,000	
・事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・運搬費～営繕費等				
$84,904,000 \times ((7.290 \times 1.000) \times 1.000 \times 1.020 \times 1.000)$			6,317,000	
・運搬費	1.000	式	0	
・準備費	1.000	式	475,000	
・安全費	1.000	式	0	
・役務費	1.000	式	0	
・技術管理費	1.000	式	0	
・営繕費等	1.000	式	0	
・現場環境改善費			620,000	
・現場環境改善費(率計上)				
$82,735,000 \times (0.750)$			620,000	
・現場環境改善費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費			22,049,000	
・現場管理費(率計上)				
$91,946,000 \times ((22.840 \times 1.000) \times 1.000 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 + 0.000 - 0.000)$			22,049,000	
・現場管理費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費(一般管理費率対象外)	1.000	式	0	
・工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・官貸額(直工)	1.000	式	0	
・官貸額(事業損失防止)	1.000	式	0	
・官貸額(直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・一般管理費等				
$113,995,000 \times (16.810 \times 1.000 + 0.04)$			19,208,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費(直工・事業損失防止)			0	
支給品費(直工)			0	
処分費等(直接工事費の内数)			1,799,000	
処分費(準備費の内数)			370,000	
処分費(事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等(率対象外)			0	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	西国東海岸保全事業				
工事名	第3工区堤防法面被覆工事				
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事					
名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)				82,031,000	
・土工					
	1.000	式		2,292,000	
・ ・掘削工					
	1.000	式		143,000	
BA0103 床掘り 【上段道路】既設路盤材撤去	140	m3	287	40,180	歩A・単A B単 1号
BA0103 床掘り 【中段道路】既設路盤材撤去	40	m3	319	12,760	歩A・単A B単 2号
BA0105 土砂等運搬 【上段道路】既設路盤材、現場→仮置場	140	m3	455	63,700	歩A・単A B単 3号
BA0105 土砂等運搬 【中段道路】既設路盤材、現場→仮置場	40	m3	668	26,720	歩A・単A B単 4号
合 計				143,360	
・ ・盛土工					
	1.000	式		1,533,000	
BA0106 路体 (築堤) 盛土・埋戻 築堤、B≧4.0m、流用材	1,000	m3	1,024	1,024,000	歩A・単A B単 5号
B01505 流用土盛土 B<1.0m、流用材	380	m3	1,339	508,820	歩A・単A B単 6号
合 計				1,532,820	
・ ・整形仕上げ工					
	1.000	式		616,000	
BA0109 法面整形 【上段法面】盛土部	1,350	m ²	456	615,600	歩A・単A B単 7号
合 計				615,600	
・ 構造物撤去工					
	1.000	式		4,951,000	
・ ・構造物取壊し工					
	1.000	式		4,951,000	
B02162 コンクリート構造物取壊し 波返工	95	m3	8,012	761,140	歩A・単A B単 8号
BA0203 舗装版切断 【中段As舗装】掘削部	297	m	638	189,486	歩A・単A B単 9号
BA0202 舗装版破砕 【上段As舗装】 t=15cm以下	1,365	m ²	218	297,570	歩A・単A B単 10号
BA0202 舗装版破砕 【中段As舗装】 t=15cm以下	208	m ²	218	45,344	歩A・単A B単 11号
BA0202 舗装版破砕 【法面上段】サンドアスファルト、 t=15cm以下	1,858	m ²	218	405,044	歩A・単A B単 12号
B02315 殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費) As殻 (既設舗装版)	88	m3	7,992	703,296	歩A・単A B単 13号
B02315 殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費) サンドアスファルト殻 (法面舗装)	130	m3	16,525	2,148,250	歩A・単A B単 14号
B02315 殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費) コンクリート殻 (波返工)	95	m3	4,217	400,615	歩A・単A B単 15号
合 計				4,950,745	
・ 波返工					
	1.000	式		25,965,000	
・ ・波返工					
	1.000	式		25,965,000	
BA0302 コンクリート 21-12-40 BB	410	m3	28,050	11,500,500	歩A・単A B単 16号
B03205 鉄筋 D19	8.61	ton	178,387	1,535,912	歩A・単A B単 17号
B03205 鉄筋 D16	2.60	ton	173,237	450,416	歩A・単A B単 18号
BA0303 型枠	617	m ²	8,425	5,198,225	歩A・単A B単 19号
BA0303 型枠 円形型枠	401	m ²	11,330	4,543,330	歩A・単A B単 20号
BA0304 目地板 遡青質板 t=10mm	44	m ²	4,525	199,100	歩A・単A B単 21号
BA0305 止水板 CF200mm×5mm	51.2	m	2,646	135,475	歩A・単A B単 22号
000023 差し筋 (施工アンカー) D19 L=770mm	759.000	本	3,165	2,402,235	歩A・単A B単 23号
合 計				25,965,193	
・ 裏法面被覆工					
	1.000	式		45,023,000	

事業名	西国東海岸保全事業				
工事名	第3工区堤防法面被覆工事				
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事					
名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
・ ・ 作業土工	1.000	式		392,000	
BA0103 床掘り 【法面上段】基礎コン部	220	m3	319	70,180	歩A・単A B単 24号
BA0108 基面整正 【法面上段】基礎コン部	180	m ²	388	69,840	歩A・単A B単 25号
B01209 埋戻 【法面上段】基礎コン部	120	m3	2,097	251,640	歩A・単A B単 26号
合 計				391,660	
・ ・ 天端コンクリート工 【法面上段】天端コンクリート	1.000	式		2,300,000	
000027 コンクリート	23.000	m3	34,970	804,310	歩A・単A B単 27号
000028 型枠	166.000	m ²	7,611	1,263,426	歩A・単A B単 28号
000029 基礎碎石 RC-40、t=15cm	149.000	m ²	1,466	218,434	歩A・単A B単 29号
000030 目地材 瀝青質板、t=10mm	3.000	m ²	4,525	13,575	歩A・単A B単 30号
合 計				2,299,745	
・ ・ 基礎コンクリート工 【法面上段】基礎コンクリート	1.000	式		4,239,000	
000031 コンクリート	45.000	m3	34,970	1,573,650	歩A・単A B単 31号
000032 型枠	313.000	m ²	7,611	2,382,243	歩A・単A B単 32号
000033 基礎碎石 RC-40、t=15cm	178.000	m ²	1,466	260,948	歩A・単A B単 33号
000034 目地材 瀝青質板、t=10mm	5.000	m ²	4,525	22,625	歩A・単A B単 34号
合 計				4,239,466	
・ ・ 防草シート撤去工 【法面下段】	1.000	式		253,000	
000035 防草シート撤去工	1,930.000	m ²	62	119,660	歩A・単A B単 35号
000036 搬運・処理（産業廃棄物処分費） 廃プラスチック類	0.260	ton	126,923	33,000	歩A・単A B単 36号
000037 既設土のう撤去 【法面下段】防草シート押え土のう	297.000	m	337	100,089	歩A・単A B単 37号
合 計				252,749	
・ ・ コンクリートブロック張工 【法面上段】	1.000	式		18,626,000	
000038 ブロック張工（空張） 【法面上段】500mm×500mm t=10cm	1,687.000	m ²	9,955	16,794,085	歩A・単A B単 38号
000039 裏込工 【法面上段】流用材（仮置場）、t=30cm	475.000	m3	3,857	1,832,075	歩A・単A B単 39号
合 計				18,626,160	
・ ・ コンクリートブロック張工 【法面下段】	1.000	式		19,213,000	
000040 ブロック張工（空張） 【法面下段】	1,930.000	m ²	9,955	19,213,150	歩A・単A B単 40号
合 計				19,213,150	
・ 付帯道路工	1.000	式		3,800,000	
・ ・ アスファルト舗装工	1.000	式		3,800,000	
BA0805 上層路盤（車道・路肩部） 【上段道路】RC-40、t=230mm	1,239	m ²	1,251	1,549,989	歩A・単A B単 41号
BA0805 上層路盤（車道・路肩部） 【中段道路】掘削部、RC-40、t=200mm	208	m ²	1,154	240,032	歩A・単A B単 42号
BA0809 表層（車道・路肩部） 【上段道路】As舗装（上段）、t=30mm	1,239	m ²	1,265	1,567,335	歩A・単A B単 43号
BA0809 表層（車道・路肩部） 【中段道路】As舗装、t=30mm	208	m ²	2,128	442,624	歩A・単A B単 44号
合 計				3,799,980	

[illegible]

[illegible]

事業名		西国東海岸保全事業				
工事名		第3工区堤防法面被覆工事				
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単ー 1号 ***					
BA0103	床掘り					
	【上段道路】既設路盤材撤去		m3	287		歩A・単A
	*** B単ー 2号 ***					
BA0103	床掘り					
	【中段道路】既設路盤材撤去		m3	319		歩A・単A
	*** B単ー 3号 ***					
BA0105	土砂等運搬					
	【上段道路】既設路盤材、現場→仮置場		m3	455		歩A・単A
	*** B単ー 4号 ***					
BA0105	土砂等運搬					
	【中段道路】既設路盤材、現場→仮置場		m3	668		歩A・単A
	*** B単ー 5号 ***					
BA0106	路体（築堤）盛土・埋戻					
	築堤、B≧4.0m、流用材		m3	1,024		歩A・単A
	*** B単ー 6号 ***					
B01505	流用土盛土					
	B<1.0m、流用材		m3	1,339		歩A・単A
	*** B単ー 7号 ***					
BA0109	法面整形					
	【上段法面】盛土部		m ²	456		歩A・単A
	*** B単ー 8号 ***					
B02162	コンクリート構造物取壊し					
	波返工		m3	8,012		歩A・単A
	*** B単ー 9号 ***					
BA0203	舗装版切断					
	【中段As舗装】掘削部		m	638		歩A・単A
	*** B単ー 10号 ***					
BA0202	舗装版破砕					
	【上段As舗装】t=15cm以下		m ²	218		歩A・単A
	*** B単ー 11号 ***					
BA0202	舗装版破砕					
	【中段As舗装】t=15cm以下		m ²	218		歩A・単A
	*** B単ー 12号 ***					
BA0202	舗装版破砕					
	【法面上段】サンドアスファルト、t=15cm以下		m ²	218		歩A・単A
	*** B単ー 13号 ***					
B02315	殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）					
	As殻（既設舗装版）		m3	7,992		歩A・単A
	*** B単ー 14号 ***					
B02315	殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）					
	サンドアスファルト殻（法面舗装）		m3	16,525		歩A・単A
	*** B単ー 15号 ***					
B02315	殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）					
	コンクリート殻（波返工）		m3	4,217		歩A・単A
	*** B単ー 16号 ***					
BA0302	コンクリート					
	21-12-40 BB		m3	28,050		歩A・単A
	*** B単ー 17号 ***					
B03205	鉄筋					
	D19		ton	178,387		歩A・単A
	*** B単ー 18号 ***					
B03205	鉄筋					
	D16		ton	173,237		歩A・単A
	*** B単ー 19号 ***					
BA0303	型枠					
			m ²	8,425		歩A・単A
	*** B単ー 20号 ***					
BA0303	型枠					
	円形型枠		m ²	11,330		歩A・単A
	*** B単ー 21号 ***					
BA0304	目地板					
	瀝青質板 t=10mm		m ²	4,525		歩A・単A
	*** B単ー 22号 ***					
BA0305	止水板					

事業名	西国東海岸保全事業					
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	CF200mm×5mm		m	2,646		歩A・単A
000023	*** B単ー 23号 *** 差し筋 (施工アンカー)					
	D19 L=770mm		本	3,165		歩A・単A
BA0103	*** B単ー 24号 *** 床掘り					
	【法面上段】基礎コン部		m3	319		歩A・単A
BA0108	*** B単ー 25号 *** 基面整正					
	【法面上段】基礎コン部		m ²	388		歩A・単A
B01209	*** B単ー 26号 *** 埋戻					
	【法面上段】基礎コン部		m3	2,097		歩A・単A
000027	*** B単ー 27号 *** コンクリート					
			m3	34,970		歩A・単A
000028	*** B単ー 28号 *** 型枠					
			m ²	7,611		歩A・単A
000029	*** B単ー 29号 *** 基礎砕石					
	RC-40、t=15cm		m ²	1,466		歩A・単A
000030	*** B単ー 30号 *** 目地材					
	遡青質板、t=10mm		m ²	4,525		歩A・単A
000031	*** B単ー 31号 *** コンクリート					
			m3	34,970		歩A・単A
000032	*** B単ー 32号 *** 型枠					
			m ²	7,611		歩A・単A
000033	*** B単ー 33号 *** 基礎砕石					
	RC-40、t=15cm		m ²	1,466		歩A・単A
000034	*** B単ー 34号 *** 目地材					
	遡青質板、t=10mm		m ²	4,525		歩A・単A
000035	*** B単ー 35号 *** 防草シート撤去工					
			m ²	62		歩A・単A
000036	*** B単ー 36号 *** 搬運搬・処理 (産業廃棄物処分費)					
	廃プラスチック類		ton	126,923		歩A・単A
000037	*** B単ー 37号 *** 既設土のう撤去					
	【法面下段】防草シート押え土のう		m	337		歩A・単A
000038	*** B単ー 38号 *** ブロック張工 (空張)					
	【法面上段】500mm×500mm t=10cm		m ²	9,955		歩A・単A
000039	*** B単ー 39号 *** 裏込工					
	【法面上段】流用材 (仮置場)、t=30cm		m3	3,857		歩A・単A
000040	*** B単ー 40号 *** ブロック張工 (空張)					
	【法面下段】		m ²	9,955		歩A・単A
BA0805	*** B単ー 41号 *** 上層路盤 (車道・路肩部)					
	【上段道路】RC-40、t=230mm		m ²	1,251		歩A・単A
BA0805	*** B単ー 42号 *** 上層路盤 (車道・路肩部)					
	【中段道路】掘削部、RC-40、t=200mm		m ²	1,154		歩A・単A
BA0809	*** B単ー 43号 *** 表層 (車道・路肩部)					
	【上段道路】As舗装 (上段)、t=30mm		m ²	1,265		歩A・単A

[illegible]

事業名		西国東海岸保全事業				
工事名		第3工区堤防法面被覆工事				
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** B単- 1号 ***					
BA0103	床掘り		m3		1,000	歩A 当たり算出
	【上段道路】既設路盤材撤去					
SA0103	SP 床掘り	1,000	m3	287.4	287	S単 25号
	土砂,標準,無し,無し,なし					
	合 計				287	
	単 価				287	
	*** B単- 2号 ***					
BA0103	床掘り		m3		1,000	歩A 当たり算出
	【中段道路】既設路盤材撤去					
SA0103	SP 床掘り	1,000	m3	318.8	319	S単 26号
	土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し,なし					
	合 計				319	
	単 価				319	
	*** B単- 3号 ***					
BA0105	土砂等運搬		m3		1,000	歩A 当たり算出
	【上段道路】既設路盤材、現場→仮置場					
SA0121	SP 土砂等運搬	1,000	m3	455.1	455	S単 27号
	標準,ハックホ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.5km以下					
	合 計				455	
	単 価				455	
	*** B単- 4号 ***					
BA0105	土砂等運搬		m3		1,000	歩A 当たり算出
	【中段道路】既設路盤材、現場→仮置場					
SA0121	SP 土砂等運搬	1,000	m3	667.5	668	S単 28号
	標準,ハックホ山積0.45m3(平積0.35m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.5km以下					
	合 計				668	
	単 価				668	
	*** B単- 5号 ***					
BA0106	路体(築堤)盛土・埋戻		m3		100,000	歩A 当たり算出
	築堤、B≧4.0m、流用材					
SA0141	SP 路体(築堤)盛土・埋戻	100,000	m3	256.4	25,640	S単 30号
	4.0m以上,20,000m3未満,無し,なし					
SA0102	SP 積込(ルーズ)	111,000	m3	236.6	26,263	S単 24号
	土砂,土量50,000m3未満					
SA0121	SP 土砂等運搬	111,000	m3	455.1	50,516	S単 27号
	標準,ハックホ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.5km以下					
	合 計				102,419	
	単 価				1,024	
	*** B単- 6号 ***					
B01505	流用土盛土		m3		100,000	歩A 当たり算出
	B<1.0m、流用材					
S01082	締固工(振動ロー締固め2.5m未満)	100,000	m3	571	57,100	S単 2号
	築堤・埋戻,0.8~1.1ton,なし					
SA0121	SP 土砂等運搬	111,000	m3	455.1	50,516	S単 27号
	標準,ハックホ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.5km以下					
SA0102	SP 積込(ルーズ)	111,000	m3	236.6	26,263	S単 24号
	土砂,土量50,000m3未満					
	合 計				133,879	
	単 価				1,339	

事業名	西国東海岸保全事業					
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単ー 7号 ***					
BA0109	法面整形 【上段法面】盛土部		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0152	SP 法面整形 盛土部,無し,無し,珪質土、砂及び砂質土、粘性土,なし	1.000	m ²	456.3	456	S単 32号
	合 計				456	
	単 価				456	
	*** B単ー 8号 ***					
B02162	コンクリート構造物取壊し 波返工		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
S02721	【構造物取壊し】 無筋,なし,機械,昼間施工,しない	1.000	m ³	8,012	8,012	S単 18号
	合 計				8,012	
	単 価				8,012	
	*** B単ー 9号 ***					
BA0203	舗装版切所 【中段As舗装】掘削部		m		1,000 m	歩A 当たり算出
SA0223	SP 舗装版切所 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-	1.000	m	638.3	638	S単 37号
	合 計				638	
	単 価				638	
	*** B単ー 10号 ***					
BA0202	舗装版破砕 【上段As舗装】 t=15cm以下		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0222	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし	1.000	m ²	217.5	218	S単 36号
	合 計				218	
	単 価				218	
	*** B単ー 11号 ***					
BA0202	舗装版破砕 【中段As舗装】 t=15cm以下		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0222	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし	1.000	m ²	217.5	218	S単 36号
	合 計				218	
	単 価				218	
	*** B単ー 12号 ***					
BA0202	舗装版破砕 【法面上段】サンドアスファルト、 t=15cm以下		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0222	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし	1.000	m ²	217.5	218	S単 36号
	合 計				218	
	単 価				218	
	*** B単ー 13号 ***					
B02315	搬運搬・処理 (産業廃棄物処分費) As殻 (既設舗装版)		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
SA0221	SP 搬運搬 舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,11.5km以下,	1.000	m ³	3,762	3,762	S単 33号
S02123	処分分費 As殻	2.350	ton	1,800	4,230	S単 11号
	合 計				7,992	
	単 価				7,992	

事業名		西国東海岸保全事業				
工事名		第3工区堤防法面被覆工事				
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単ー 14号 ***					
B02315	殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費) サンドアスファルト殻 (法面舗装)		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0221	SP 殻運搬 舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,60.0km以下,	1,000	m3	7,524	7,524	S単 34号
S02123	殻処分費 サンドアスファルト殻	2,350	ton	3,830	9,001	S単 12号
	合 計				16,525	
	単 価				16,525	
	*** B単ー 15号 ***					
B02315	殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費) コンクリート殻 (波返工)		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0221	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とこわし,機械積込,無し,10.9km以下,	1,000	m3	1,867	1,867	S単 35号
S02123	殻処分 Co殻	2,350	ton	1,000	2,350	S単 13号
	合 計				4,217	
	単 価				4,217	
	*** B単ー 16号 ***					
BA0302	コンクリート 21-12-40 BB		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポンプ車打設,計上する,10m3以上100m3未満,一般養生, 延長無し, -, -, 21-12-40(高炉B) W/C60%	1,000	m3	28,050	28,050	S単 39号
	合 計				28,050	
	単 価				28,050	
	*** B単ー 17号 ***					
B03205	鉄筋 D19		ton		1,000	歩A 当たり算出
S03701	【鉄筋工】 SD345, D19, 一般構造物, 10t未満, -, 無し, 一般構造物 (切梁無し), 10%未満	1,000	ton	178,387	178,387	S単 19号
	合 計				178,387	
	単 価				178,387	
	*** B単ー 18号 ***					
B03205	鉄筋 D16		ton		1,000	歩A 当たり算出
S03701	【鉄筋工】 SD295, D16, 一般構造物, 10t未満, -, 無し, 一般構造物 (切梁無し), 10%未満	1,000	ton	173,237	173,237	S単 20号
	合 計				173,237	
	単 価				173,237	
	*** B単ー 19号 ***					
BA0303	型枠		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	1,000	m ²	8,425	8,425	S単 41号
	合 計				8,425	
	単 価				8,425	
	*** B単ー 20号 ***					
BA0303	型枠 円形型枠		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠)	1,000	m ²	11,330	11,330	S単 42号

事業名	西国東海岸保全事業					
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				11,330	
	単 価				11,330	
	*** B単— 21号 ***					
BA0304	目地板 瀝青質板 t=10mm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0331	SP 目地板 30m2以上,計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm	1.000	m ²	4,525	4,525	S単 44号
	合 計				4,525	
	単 価				4,525	
	*** B単— 22号 ***					
BA0305	止水板 CF200mm×5mm		m		1,000	歩A 当たり算出
SA0332	SP 止水板 計上する(塩ビ製),CF 200mm×5mm	1.000	m	2,646	2,646	S単 45号
	合 計				2,646	
	単 価				2,646	
	*** B単— 23号 ***					
000023	差し筋(施工アンカー) D19 L=770mm		本		1,000	歩A 当たり算出
T00002	差し筋(エポキシ樹脂塗装) D19 L=770mm	1.000	本	372	372	T単 2号
S02200	コンクリート削孔 削孔径10mm以上30mm未満、削孔深さ200mm以上400mm以下	1.000	孔	856.1	856	S単 17号
S02116	アンカー注入材 D19用、カプセルタイプ,,	1.000	本	560	560	S単 10号
T00001	アンカー定着工 D19 L=770mm 波返工	1.000	本	1,377	1,377	T単 1号
	合 計				3,165	
	単 価				3,165	
	*** B単— 24号 ***					
BA0103	床掘り 【法面上段】基礎コン部		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し,なし	1.000	m3	318.8	319	S単 26号
	合 計				319	
	単 価				319	
	*** B単— 25号 ***					
BA0108	基面整正 【法面上段】基礎コン部		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0151	SP 基面整正 基面整正	1.000	m ²	387.6	388	S単 31号
	合 計				388	
	単 価				388	
	*** B単— 26号 ***					
B01209	埋戻 【法面上段】基礎コン部		m3		100,000	歩A 当たり算出
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コンパクタ(Ⅰ)	100.000	m3	1,834	183,400	S単 1号
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,土量50,000m3未満	111.000	m3	236.6	26,263	S単 24号
	合 計				209,663	
	単 価				2,097	

事業名		西国東海岸保全事業				
工事名		第3工区堤防法面被覆工事				
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単ー 27号 ***					
000027	コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,~,一般養生,~,無し,~,18-8-25(20)(高炉B) W /C65%	1.000	m3	34,970	34,970	S単 40号
	合 計				34,970	
	単 価				34,970	
	*** B単ー 28号 ***					
000028	型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	1.000	m ²	7,611	7,611	S単 43号
	合 計				7,611	
	単 価				7,611	
	*** B単ー 29号 ***					
000029	基礎碎石 RC-40、t=15cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0301	SP 基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシュラン RC-40 40～0mm	1.000	m ²	1,466	1,466	S単 38号
	合 計				1,466	
	単 価				1,466	
	*** B単ー 30号 ***					
000030	目地材 瀝青質板、t=10mm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0331	SP 目地板 30m2以上,計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm	1.000	m ²	4,525	4,525	S単 44号
	合 計				4,525	
	単 価				4,525	
	*** B単ー 31号 ***					
000031	コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,~,一般養生,~,無し,~,18-8-25(20)(高炉B) W /C65%	1.000	m3	34,970	34,970	S単 40号
	合 計				34,970	
	単 価				34,970	
	*** B単ー 32号 ***					
000032	型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	1.000	m ²	7,611	7,611	S単 43号
	合 計				7,611	
	単 価				7,611	
	*** B単ー 33号 ***					
000033	基礎碎石 RC-40、t=15cm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0301	SP 基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシュラン RC-40 40～0mm	1.000	m ²	1,466	1,466	S単 38号
	合 計				1,466	
	単 価				1,466	

事業名	西国東海岸保全事業				
工事名	第3工区堤防法面被覆工事				

工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** B単ー 34号 ***					
000034	目地材 瀝青質板、t=10mm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0331	SP 目地板 30m2以上、計上する、目地板(瀝青質板) t=10mm	1,000	m ²	4,525	4,525	S単 44号
	合 計				4,525	
	単 価				4,525	
	*** B単ー 35号 ***					
000035	防草シート撤去工		m ²		1,000	歩A 当たり算出
S18062	土工用マット(シート類)敷設・撤去 撤去	1,000	m ²	62	62	S単 22号
	合 計				62	
	単 価				62	
	*** B単ー 36号 ***					
000036	殻運搬・処理(産業廃棄物処分費) 廃プラスチック類		ton		0,260	歩A 当たり算出
S02123	殻処分費 廃プラスチック類	0,260	ton	50,000	13,000	S単 14号
S02123	殻運搬費 廃プラスチック類、2t車	1,000	台	20,000	20,000	S単 15号
	合 計				33,000	
	単 価				126,923	
	*** B単ー 37号 ***					
000037	既設土のう撤去 【法面下段】防草シート押え土のう		m		1,000	歩A 当たり算出
T00004	既設土のう撤去工 【法面下段】	1,000	m	337	337	T単 3号
	合 計				337	
	単 価				337	
	*** B単ー 38号 ***					
000038	ブロック張工(空張) 【法面上段】500mm×500mm t=10cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
S02024	張ブロック工(空張) 目地モルタルを使用しない場合、厚さ10cm、なし	1,000	m ²	9,955	9,955	S単 3号
	合 計				9,955	
	単 価				9,955	
	*** B単ー 39号 ***					
000039	裏込工 【法面上段】流用材(仮置場)、t=30cm		m3		475,000	歩A 当たり算出
S02029	裏込工(ブロック張) 再生グラツシヤン(RC-40)、あり	475,000	m3	3,157	1,499,575	S単 4号
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂、土量50,000m3未満	527,000	m3	236.6	124,688	S単 24号
SA0121	SP 土砂等運搬 標準、バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)、土砂(岩塊・玉石混り土含む)、無し、0.3km以下	527,000	m3	394.5	207,902	S単 29号
	合 計				1,832,165	
	単 価				3,857	
	*** B単ー 40号 ***					
000040	ブロック張工(空張) 【法面下段】		m ²		1,000	歩A 当たり算出

事業名	西国東海岸保全事業					
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02024	張ブロック工(空張) 目地モルタルを使用しない場合,厚さ10cm,なし	1.000	m ²	9,955	9,955	S単 3号
	合 計				9,955	
	単 価				9,955	
	*** B単— 41号 ***					
BA0805	上層路盤(車道・路肩部) 【上段道路】RC-40、t=230mm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0834	SP 上層路盤(車道・路肩部) 路盤材,路盤材(各種)砕石材,~,~,2層施工,なし,0mm,230mm	1.000	m ²	1,251	1,251	S単 46号
	合 計				1,251	
	単 価				1,251	
	*** B単— 42号 ***					
BA0805	上層路盤(車道・路肩部) 【中段道路】掘削部、RC-40、t=200mm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0834	SP 上層路盤(車道・路肩部) 路盤材,路盤材(各種)砕石材,~,~,2層施工,なし,0mm,200mm	1.000	m ²	1,154	1,154	S単 47号
	合 計				1,154	
	単 価				1,154	
	*** B単— 43号 ***					
BA0809	表層(車道・路肩部) 【上段道路】As舗装(上段)、t=30mm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0843	SP 表層(車道・路肩部) 3.0m超,30mm,アスファルト混合物Ⅰ(2.35t/m3),プライムコート 各種,なし,再生密粒度アスコン(20)	1.000	m ²	1,265	1,265	S単 48号
	合 計				1,265	
	単 価				1,265	
	*** B単— 44号 ***					
BA0809	表層(車道・路肩部) 【中段道路】As舗装、t=30mm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0843	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m未満1層仕上厚50mm以下,30mm,アスファルト混合物Ⅰ(2.35t/m3),プライムコート 各種,,再生密粒度アスコン(20)	1.000	m ²	2,128	2,128	S単 49号
	合 計				2,128	
	単 価				2,128	
	*** B単— 45号 ***					
000045	足場工 単管足場		式		1,000 式	歩A 当たり算出
S18031	足場工 なし,単管,なし	611.000	掛m ²	4,097	2,503,267	S単 21号
	合 計				2,503,267	
	単 価				2,503,267	
	*** B単— 46号 ***					
000046	木根等処分 【法面上段、下段】		空m3		61,000 空m3	歩A 当たり算出
S19025	運搬(伐開、除根、除草) 21.0km 以下,普通	61.000	空m3	1,732	105,652	S単 23号
S02123	処分費 伐採物	33.600	ton	11,000	369,600	S単 16号
	合 計				475,252	
	単 価				7,791	

事業名	西国東海岸保全事業					
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コンバクタ(I)		m3	1,834		歩A・単A
	*** S単－2号 ***					
S01082	締固工(振動ロー締固め2.5m未満)					
	締固工(振動ロー締固め2.5m未満) 築堤・埋戻,0.8～1.1ton,なし		m3	571		歩A・単A
	*** S単－3号 ***					
S02024	張プロック工(空張)					
	張プロック工(空張) 日地膜を使用しない場合,厚さ10cm,なし		m ²	9,955		歩A・単A
	*** S単－4号 ***					
S02029	裏込工(7'ロック張)					
	裏込工(7'ロック張) 再生グラツシヤン(RC-40),あり		m3	3,157		歩A・単A
	*** S単－5号 ***					
S02115	土木一般世話役					
	土木一般世話役		人	29,274		歩A・単A
	*** S単－6号 ***					
S02115	特殊作業員					
	特殊作業員		人	23,460		歩A・単A
	*** S単－7号 ***					
S02115	普通作業員					
	普通作業員		人	19,380		歩A・単A
	*** S単－8号 ***					
S02116	異形棒鋼					
	異形棒鋼 SD345 D19,,		ton	106,000		歩A・単A
	*** S単－9号 ***					
S02116	エポキシ樹脂塗料費					
	エポキシ樹脂塗料費 D19,,		ton	63,000		歩A・単A
	*** S単－10号 ***					
S02116	アンカー注入材					
	アンカー注入材 D19用、カプセルタイプ,,		本	560		歩A・単A
	*** S単－11号 ***					
S02123	殻処分費					
	殻処分費 As殻		ton	1,800		歩A・単A
	*** S単－12号 ***					
S02123	殻処分費					
	殻処分費 サンドアスファルト殻		ton	3,830		歩A・単A
	*** S単－13号 ***					
S02123	殻処分					
	殻処分 Co殻		ton	1,000		歩A・単A
	*** S単－14号 ***					
S02123	殻処分費					
	殻処分費 廃プラスチック類		ton	50,000		歩A・単A
	*** S単－15号 ***					
S02123	殻運搬費					
	殻運搬費 廃プラスチック類、2t車		台	20,000		歩A・単A
	*** S単－16号 ***					
S02123	処分費					
	処分費 伐採物		ton	11,000		歩A・単A
	*** S単－17号 ***					
S02200	コンクリート削孔					
	コンクリート削孔 削孔径10mm以上30mm未満、削孔深さ200mm以上400mm以下		孔	856.1		歩A・単A
	*** S単－18号 ***					
S02721	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】 無筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3	8,012		歩A・単A
	*** S単－19号 ***					
S03701	【鉄筋工】					
	【鉄筋工】 SD345,D19,一般構造物,10t未満,一,無し,一般構造物(切梁無し),10%未満		ton	178,387		歩A・単A
	*** S単－20号 ***					
S03701	【鉄筋工】					
	【鉄筋工】 SD295,D16,一般構造物,10t未満,一,無し,一般構造物(切梁無し),10%未満		ton	173,237		歩A・単A
	*** S単－21号 ***					
S18031	足場工					
	足場工 なし,単管,なし		掛m ²	4,097		歩A・単A
	*** S単－22号 ***					
S18062	土工用マット(シート類)敷設・撤去					

事業名 西国東海岸保全事業

工事名 第3工区堤防法面被覆工事

工事別工事名: 第3工区堤防法面被覆工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	土工用マット(シート類)敷設・撤去					
	撤去		m ²	62		歩A・単A
	*** S単ー 23号 ***					
S19025	運搬 (伐間、除根、除草)					
	運搬 (伐間、除根、除草)					
	21.0km 以下、普通		空m3	1,732		歩A・単A
	*** S単ー 24号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)					
	SP 積込(ルーズ)					
	土砂、土量50,000m3未満		m3	236.6		歩A・単A
	*** S単ー 25号 ***					
SA0103	SP 床掘り					
	SP 床掘り					
	土砂、標準、無し、無し、なし		m3	287.4		歩A・単A
	*** S単ー 26号 ***					
SA0103	SP 床掘り					
	SP 床掘り					
	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し、なし		m3	318.8		歩A・単A
	*** S単ー 27号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬					
	標準、ハックル山積0.8m3(平積0.6m3)、土砂(岩塊・玉石混り土含む)、無し、0.5km以		m3	455.1		歩A・単A
	下					
	*** S単ー 28号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬					
	標準、ハックル山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉石混り土含む)、無し、0.5km		m3	667.5		歩A・単A
	以下					
	*** S単ー 29号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬					
	標準、ハックル山積0.8m3(平積0.6m3)、土砂(岩塊・玉石混り土含む)、無し、0.3km以		m3	394.5		歩A・単A
	下					
	*** S単ー 30号 ***					
SA0141	SP 路体(築堤)盛土・埋戻					
	SP 路体(築堤)盛土・埋戻					
	4.0m以上、20,000m3未満、無し、なし		m3	256.4		歩A・単A
	*** S単ー 31号 ***					
SA0151	SP 基面整正					
	SP 基面整正					
	基面整正		m ²	387.6		歩A・単A
	*** S単ー 32号 ***					
SA0152	SP 法面整形					
	SP 法面整形					
	盛土部、無し、無し、質土、砂及び砂質土、粘性土、なし		m ²	456.3		歩A・単A
	*** S単ー 33号 ***					
SA0221	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬					
	舗装版破砕、機械積込(舗装版厚15cm以下)、無し、11.5km以下、		m3	3,762		歩A・単A
	*** S単ー 34号 ***					
SA0221	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬					
	舗装版破砕、機械積込(舗装版厚15cm以下)、無し、60.0km以下、		m3	7,524		歩A・単A
	*** S単ー 35号 ***					
SA0221	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬					
	コンクリート(無筋)構造物とこわし、機械積込、無し、10.9km以下、		m3	1,867		歩A・単A
	*** S単ー 36号 ***					
SA0222	SP 舗装版破砕					
	SP 舗装版破砕					
	アスファルト舗装版、無し、不要、15cm以下、-, 有り、なし		m ²	217.5		歩A・単A
	*** S単ー 37号 ***					
SA0223	SP 舗装版切断					
	SP 舗装版切断					
	アスファルト舗装版、15cm以下、-, -		m	638.3		歩A・単A
	*** S単ー 38号 ***					
SA0301	SP 基礎碎石					
	SP 基礎碎石					
	12.5cmを超え17.5cm以下、計上する、なし、再生クラッシュラン RC-40 40～0mm		m ²	1,466		歩A・単A
	*** S単ー 39号 ***					
SA0311	SP コンクリート					
	SP コンクリート					
	無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設、計上する、10m3以上100m3未満、一般養生、		m3	28,050		歩A・単A
	延長無し、-, -, 21-12-40(高炉B) W/C60%					
	*** S単ー 40号 ***					
SA0311	SP コンクリート					
	SP コンクリート					
	小型構造物、人力打設、計上する、-, 一般養生、-, 無し、-, 18-8-25(20)(高炉B) W		m3	34,970		歩A・単A
	/C65%					
	*** S単ー 41号 ***					
SA0312	SP 型枠					

[illegible]

事業名		西国東海岸保全事業				
工事名		第3工区堤防法面被覆工事				
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単-1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コンパクタ(Ⅰ)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	砂・砂質土		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)作業区分	埋戻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分	まき出し		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)締固め区分	振動コンパクタ(Ⅰ)				
R01002	特殊作業員	0.200	人	23,460	4,692	
R01003	普通作業員	0.680	人	19,380	13,178	
Y00004	諸雑費 10%	0.100		4,692	469	
	合 計				18,339	算出数量 10,000 m3
	単 価		m3		1,834	
	*** S単-2号 ***					
S01082	締固工(振動ロー締固め2.5m未満)		m3		1,000 日	歩A 当たり算出
	締固工(振動ロー締固め2.5m未満) 築堤・埋戻,0.8～1.1ton,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	築堤・埋戻		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分(ton)	0.8～1.1ton		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)長期割引単価区分	なし		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
F04081	振動ロー[ハントガイト式] 質量0.8～1.1t	1.440	日	2,960	4,262	
P34029	軽油 バトリール給油	5.700	L	148	844	
R01002	特殊作業員	1.000	人	23,460	23,460	
	合 計				28,566	算出数量 50,000 m3
	単 価		m3		571	
	*** S単-3号 ***					
S02024	張ブロック工(空張)		m ²		10,000 m ²	歩A 当たり算出
	張ブロック工(空張) 目地モルタルを使用しない場合,厚さ10cm,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	目地モルタルを使用しない場合		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)材料区分	厚さ10cm		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)長期割引単価区分(賃料機械)	なし		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P15003	張ブロック 厚10cm(500×500以下)	10.000	m ²	6,400	64,000	
R01001	土木一般世話役	0.150	人	29,274	4,391	
R01007	ブロック工	0.300	人	26,622	7,987	
R01003	普通作業員	0.430	人	19,380	8,333	
F08061	バックホ[クローラ型・クレーン・～超低・排対型(～2011)] 標準バケット容量 山積0.45m3 (平積0.35m3) 吊能力2.9t	0.410	日	11,000	4,510	
R01021	運転手 (特殊)	0.300	人	26,520	7,956	
P34029	軽油 バトリール給油	16.000	L	148	2,368	
	合 計				99,545	算出数量 10,000 m ²
	単 価		m ²		9,955	
	*** S単-4号 ***					
S02029	裏込工(ブロック張)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	裏込工(ブロック張) 再生クワツヤン(RC-40),あり			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)裏込材区分	再生クワツヤン(RC-40)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)単価0円(裏込材)	あり		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	0.400	人	29,274	11,710	

事業名	西国東海岸保全事業					
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R01003	普通作業員	0.800	人	19,380	15,504	
Y00004	諸雑費	0.160		27,214	4,354	
J03118	再生クラッシュラン RC-40 40～0mm	11.100	m3	0	0	
	合 計				31,568	算出数量 10.000 m3
	単 価		m3		3,157	
	*** S単－5号 ***					
S02115	土木一般世話役		人		1,000	歩A 当たり算出
	土木一般世話役			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01001 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	29,274	29,274	
	合 計				29,274	算出数量 1.000 人
	単 価				29,274	
	*** S単－6号 ***					
S02115	特殊作業員		人		1,000	歩A 当たり算出
	特殊作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01002 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01002	特殊作業員	1.000	人	23,460	23,460	
	合 計				23,460	算出数量 1.000 人
	単 価				23,460	
	*** S単－7号 ***					
S02115	普通作業員		人		1,000	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員	1.000	人	19,380	19,380	
	合 計				19,380	算出数量 1.000 人
	単 価				19,380	
	*** S単－8号 ***					
S02116	異形棒鋼		ton		1,000	歩A 当たり算出
	異形棒鋼 SD345 D19,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード (P) 3)地区資材単価コード (J) 4)施設機械資材単価コード (K)	地域資材 (Pコード) P18232		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P18232	異形棒鋼 SD345 D19	1.000	ton	106,000	106,000	
	合 計				106,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				106,000	
	*** S単－9号 ***					

事業名	西国東海岸保全事業					
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02116	エポキシ樹脂塗料費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	エポキシ樹脂塗料費 D19.			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード (P)	P96003		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96003	エポキシ樹脂塗料費 D19	1.000	ton	63,000	63,000	
	合 計				63,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				63,000	
	*** S単- 10号 ***					
S02116	アンカー注入材		本		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	アンカー注入材 D19用、カプセルタイプ.			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材 (Pコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード (P)	P96002		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96002	アンカー注入材 D19用、カプセルタイプ	1.000	本	560	560	
	合 計				560	算出数量 1.000 各単位
	単 価				560	
	*** S単- 11号 ***					
S02123	殻処分費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	殻処分費 As殻			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P96009		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	As殻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	1,800円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96009	殻処分費 As殻	1.000	ton	1,800	1,800	
	合 計				1,800	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,800	
	*** S単- 12号 ***					
S02123	殻処分費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	殻処分費 サンドアスファルト殻			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P96009		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	サンドアスファルト殻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	3,830円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96009	殻処分費 サンドアスファルト殻	1.000	ton	3,830	3,830	
	合 計				3,830	算出数量 1.000 各単位
	単 価				3,830	
	*** S単- 13号 ***					
S02123	殻処分		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	殻処分 Co殻			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P96001		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	Co殻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	1,000円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96001	殻処分 Co殻	1.000	ton	1,000	1,000	
	合 計				1,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,000	

事業名	西国東海岸保全事業					
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 14号 ***					
S02123	設処分費		ton		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	設処分費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	廃プラスチック類					
	1)地域資材単価コード	P96006		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	廃プラスチック類		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	0円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96006	設処分費					
	廃プラスチック類	1,000	ton	50,000	50,000	
	合 計				50,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				50,000	
	*** S単ー 15号 ***					
S02123	設運搬費		台		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	設運搬費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	廃プラスチック類、2t車					
	1)地域資材単価コード	P96005		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	廃プラスチック類、2t車		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	0円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96005	設運搬費					
	廃プラスチック類、2t車	1,000	台	20,000	20,000	
	合 計				20,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				20,000	
	*** S単ー 16号 ***					
S02123	処分費		ton		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	処分費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	伐採物					
	1)地域資材単価コード	P96004		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	伐採物		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	11,000円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P96004	処分費					
	伐採物	1,000	ton	11,000	11,000	
	合 計				11,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				11,000	
	*** S単ー 17号 ***					
S02200	コンクリート削孔		孔		1,000 孔	歩A 当たり算出
	コンクリート削孔			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	削孔径10mm以上30mm未満、削孔深さ200mm以上400mm以下					
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	単 価		孔		856.1	
	*** S単ー 18号 ***					
S02721	【構造物取壊し】		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	無筋,なし,機械,昼間施工,しない					
	1)作業区分	無筋		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)時間的制約	なし		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分Ⅰ	機械		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施工区分Ⅱ	昼間施工				
	5)低騒音・低振動対策	しない				
A73501	構造物とりこわし工無筋構造物					
	制約無 機械 機労 昼間	1,000	m3	8,012	8,012	
	合 計				8,012	算出数量 1,000 m3

西国東海岸保全事業						
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m3		8,012	
	*** S単- 19号 ***					
S03701	【鉄筋工】		ton		1,000 ton	歩A 当たり算出
	【鉄筋工】 SD345,D19,一般構造物,10t未満,一,無し,一般構造物（切梁無し）, 10%未満			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)規格区分 2)径区分 3)作業区分 4)施工規模 5)時間的制約 6)夜間作業 7)構造物区分 8)太径鉄筋量	SD345 D19 一般構造物 10t未満 一 無し 一般構造物（切梁無し） 10%未満				
P18232	異形棒鋼 SD345 D19	1.030	ton	106,000	109,180	
A01001	鉄筋(一般構造物)	1.150	ton	60,180	69,207	
	合 計				178,387	算出数量 1,000 ton
	単 価		ton		178,387	
	*** S単- 20号 ***					
S03701	【鉄筋工】		ton		1,000 ton	歩A 当たり算出
	【鉄筋工】 SD295,D16,一般構造物,10t未満,一,無し,一般構造物（切梁無し）, 10%未満			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)規格区分 2)径区分 3)作業区分 4)施工規模 5)時間的制約 6)夜間作業 7)構造物区分 8)太径鉄筋量	SD295 D16 一般構造物 10t未満 一 無し 一般構造物（切梁無し） 10%未満				
P18247	異形棒鋼 SD295 D16	1.030	ton	101,000	104,030	
A01001	鉄筋(一般構造物)	1.150	ton	60,180	69,207	
	合 計				173,237	算出数量 1,000 ton
	単 価		ton		173,237	
	*** S単- 21号 ***					
S18031	足場工		掛㎡		100,000 掛㎡	歩A 当たり算出
	足場工 なし,単管,なし 1)足場区分 2)安全ネット区分 3)長期割引単価区分(賃料機械)	単管 なし なし		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	1.900	人	29,274	55,621	
R01012	とび工	6.900	人	26,520	182,988	
R01003	普通作業員	1.800	人	19,380	34,884	
F01086	ラフレックシオン[油圧伸縮ｼﾌﾞ型・低騒・排対型(2014)] 吊上能力25t吊	0.800	日	55,100	44,080	
Y00004	諸雑費	0.290		317,573	92,096	
	合 計				409,669	算出数量 100,000 掛㎡
	単 価		掛㎡		4,097	
	*** S単- 22号 ***					
S18062	土工用ﾏｯﾄ(ｼｰﾄ類)敷設・撤去		㎡		100,000 ㎡	歩A 当たり算出

西国東海岸保全事業						
工事名	第3工区堤防法面被覆工事					
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	土工用マット(シート類)敷設・撤去			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	撤去			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)施工区分	撤去		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)土木安定用材の1㎡当たり単価	0				
R01003	普通作業員	0.320	人	19,380	6,202	
	合 計				6,202	算出数量 100.000 ㎡
	単 価		㎡		62	
	*** S単ー 23号 ***					
S19025	運搬(伐開、除根、除草)		空m3		100.000 空m3	歩A 当たり算出
	運搬(伐開、除根、除草)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	21.0km 以下、普通			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)運搬距離	21.0km 以下		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)路面条件	普通				
M03005	タンクトラック[ワンロード・ディーゼル]	3.640	供用日	20,100	73,164	
W14065	タイヤ消耗費 (DT国産・普通・D)	3.640	供用日	1,190	4,332	
P34029	軽油	168.000	L	148	24,864	
	バトリール給油					
R01022	運転手 (一般)	2.800	人	25,296	70,829	
	合 計				173,189	算出数量 100.000 空m3
	単 価		空m3		1,732	
	*** S単ー 24号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	土砂,土量50,000m3未満			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質	土砂				
	2)作業内容	土量50,000m3未満				
	単 価		m3		236.6	
	*** S単ー 25号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	土砂,標準,無し,無し,なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	標準				
	3)土留方式の種類	無し				
	4)障害の有無	無し				
	5)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m3		287.4	
	*** S単ー 26号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し,なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	平均施工幅1m以上2m未満				

事業名 西国東海岸保全事業						
工事名 第3工区堤防法面被覆工事						
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)土留方式の種類	無し				
	4)障害の有無	無し				
	5)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m3		318.8	
	*** S単一 27号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 標準,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.5km以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)土砂等発生現場	標準				
	2)積込機種・規格	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3)				
	3)土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
	4)DID区間の有無	無し				
	5)運搬距離	0.5km以下				
	単 価		m3		455.1	
	*** S単一 28号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 標準,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.45m3(平積0.35m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.5km以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)土砂等発生現場	標準				
	2)積込機種・規格	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.45m3(平積0.35m3)				
	3)土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
	4)DID区間の有無	無し				
	5)運搬距離	0.5km以下				
	単 価		m3		667.5	
	*** S単一 29号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 標準,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,0.3km以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)土砂等発生現場	標準				
	2)積込機種・規格	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3)				
	3)土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
	4)DID区間の有無	無し				
	5)運搬距離	0.3km以下				
	単 価		m3		394.5	
	*** S単一 30号 ***					
SA0141	SP 路体(築堤)盛土・埋戻		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 路体(築堤)盛土・埋戻 4.0m以上,20,000m3未満,無し,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)施工幅員	4.0m以上				
	2)施工数量	20,000m3未満				
	3)障害の有無	無し				
	4)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m3		256.4	

事業名 西国東海岸保全事業						
工事名 第3工区堤防法面被覆工事						
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 31号 ***					
SA0151	SP 基面整正		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基面整正			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	基面整正			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)整形区分	基面整正				
	単 価		m ²		387.6	
	*** S単ー 32号 ***					
SA0152	SP 法面整形		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	盛土部,無し,無し,は質土、砂及び砂質土、粘性土、なし			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)整形箇所	盛土部				
	2)法面締固めの有無	無し				
	3)現場制約の有無	無し				
	4)土質	は質土、砂及び砂質土、粘性土				
	5)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		456.3	
	*** S単ー 33号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,11.5km以下,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業	舗装版破碎				
	2)積込工法区分	機械積込(舗装版厚15cm以下)				
	3)DID区間の有無	無し				
	4)運搬距離	11.5km以下				
	単 価		m ³		3,762	
	*** S単ー 34号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,60.0km以下,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業	舗装版破碎				
	2)積込工法区分	機械積込(舗装版厚15cm以下)				
	3)DID区間の有無	無し				
	4)運搬距離	60.0km以下				
	単 価		m ³		7,524	
	*** S単ー 35号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	コンクリート(無筋)構造物とこわし,機械積込,無し,10.9km以下,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業	コンクリート(無筋)構造物とこわし				
	2)積込工法区分	機械積込				
	3)DID区間の有無	無し				
	4)運搬距離	10.9km以下				

事業名		西国東海岸保全事業				
工事名		第3工区堤防法面被覆工事				
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m3		1,867	
	*** S単ー 36号 ***					
SA0222	SP 舗装版破砕		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)舗装版種別 2)障害等の有無 3)騒音振動対策 4)舗装版厚	アスファルト舗装版 無し 不要 15cm以下				
	5)Co+As (カバー)舗装によるAs舗装 6)積込作業の有無 7)長期割引単価区分	- 有り なし				
	単 価		m ²		217.5	
	*** S単ー 37号 ***					
SA0223	SP 舗装版切断		m		1,000 m	歩A 当たり算出
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)舗装版種別 2)アスファルト舗装版厚 3)コンクリート舗装版厚 4)コンクリート+アスファルト (カバー)舗装版	アスファルト舗装版 15cm以下 - -				
P96008	コンクリートカット用ブレード 径450mm		枚			材変
	単 価		m		638.3	
	*** S単ー 38号 ***					
SA0301	SP 基礎碎石		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシャラン RC-40 40～0mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)碎石の厚さ 2)碎石の計上 3)長期割引単価区分 4)規格区分	12.5cmを超え17.5cm以下 計上する なし 再生クラッシャラン RC-40 40～0mm				
	単 価		m ²		1,466	
	*** S単ー 39号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポンプ車打設,計上する,10m3以上100m3未満, 一般養生,延長無し,-,-,-,21-12-40 (高炉B) W/C60%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)構造物種別 2)打設工法 3)コンクリートの計上 4)設計日打設量 5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分 7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離 10)規格区分	無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 計上する 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し - - 21-12-40 (高炉B) W/C60%				
	単 価		m3		28,050	

事業名 西国東海岸保全事業						
工事名 第3工区堤防法面被覆工事						
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 40号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-25 (20			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	) (高炉B) W/C65%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)構造物種別	小型構造物				
	2)打設工法	人力打設				
	3)コンクリートの計上	計上する				
	4)設計日打設量	-				
	5)養生工の種類	一般養生				
	6)圧送管延長距離区分	-				
	7)現場内小運搬の有無	無し				
	8)打設高さ、水平打設距離	-				
	10)規格区分	18-8-25 (20) (高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		34,970	
	*** S単－ 41号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	鉄筋・無筋構造物				
	単 価		m ²		8,425	
	*** S単－ 42号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物 (合板円形型枠)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	鉄筋・無筋構造物 (合板円形型枠)				
	単 価		m ²		11,330	
	*** S単－ 43号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠, 小型構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	小型構造物				
	単 価		m ²		7,611	
	*** S単－ 44号 ***					
SA0331	SP 目地板		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 目地板 30m2以上, 計上する, 目地板 (瀝青質板) t=10mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)1工事当り使用量	30m2以上				
	2)目地板の計上	計上する				

事業名 西国東海岸保全事業						
工事名 第3工区堤防法面被覆工事						
工事別工事名:第3工区堤防法面被覆工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)規格区分	目地板(瀝青質板) t=10mm				
	単 価		m ²		4,525	
	*** S単一 45号 ***					
SA0332	SP 止水板		m		1,000 m	歩A 当たり算出
	SP 止水板 計上する(塩ビ製),CF 200mm×5mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)止水板の計上 2)規格区分	計上する(塩ビ製) CF 200mm×5mm				
	単 価		m		2,646	
	*** S単一 46号 ***					
SA0834	SP 上層路盤(車道・路肩部)		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤(車道・路肩部) 路盤材,路盤材(各種)砕石材,-,-,-,2層施工,なし,0mm,230mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)材料区分Ⅰ 2)平均幅員	路盤材 -				
	3)瀝青材の有無 4)路盤材の有無	なし あり				
	5)施工区分 6)瀝青材区分Ⅰ	2層施工 -				
	7)長期割引単価区分 8)瀝青材1層当り平均仕上り厚	なし 0mm				
	9)路盤材全仕上り厚 11)材料区分Ⅱ	230mm 路盤材(各種)砕石材				
J03118	再生クラッシュラン RC-40 40～0mm		m3			材変
	単 価		m ³		1,251	
	*** S単一 47号 ***					
SA0834	SP 上層路盤(車道・路肩部)		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤(車道・路肩部) 路盤材,路盤材(各種)砕石材,-,-,-,2層施工,なし,0mm,200mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)材料区分Ⅰ 2)平均幅員	路盤材 -				
	3)瀝青材の有無 4)路盤材の有無	なし あり				
	5)施工区分 6)瀝青材区分Ⅰ	2層施工 -				
	7)長期割引単価区分 8)瀝青材1層当り平均仕上り厚	なし 0mm				
	9)路盤材全仕上り厚 11)材料区分Ⅱ	200mm 路盤材(各種)砕石材				
J03118	再生クラッシュラン RC-40 40～0mm		m3			材変
	単 価		m ³		1,154	
	*** S単一 48号 ***					
SA0843	SP 表層(車道・路肩部)		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 3.0m超,30mm,アスファルト混合物Ⅰ(2.35t/m3),ブライムコート 各種,なし,再生密粒度アスコン(20)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	3.0m超 30mm				

[illegible]

[illegible]

[illegible]

令和 5 年度西国東海岸保全事業
第 3 工区堤防法面被覆工事

特別仕様書

九州農政局 西国東海岸保全事業所

第1章 総則

令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面被覆工事の施工にあたっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

なお、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、西国東海岸保全事業の一環として第3工区堤防陸側の法面被覆を行うものである。

2. 工事場所

大分県豊後高田市西真玉地内

3. 工事概要

本工事の概要は、次のとおりである。

裏法面被覆工

施工区間 No. 2+39.60 ～ No. 8+36.60

施工延長 L=297.00m

内訳

土工	1 式
波返工	L = 297.00m
アスファルト舗装工	A = 1,447 m ²
裏法面被覆工（コンクリートブロック張）	A = 3,617 m ²
その他	1 式

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

第3章 施工条件

1. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者等の確保が図れるよう余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている168日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに様式1と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。

また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和 7 年 1 月 21 日（工事完了期限日）まで

2. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等 54 日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日、夏季休暇及び年末年始休暇を含んでいる。

3. 施工しない日

原則、土曜日、日曜日、夏季休暇（令和 6 年 8 月 13 日～8 月 15 日）、年末年始休暇（令和 6 年 12 月 27 日～令和 7 年 1 月 3 日）。ただし、週休 2 日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休 2 日の実施を取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

4. 施工しない時間帯

原則、平日の午後 6 時から午前 8 時まで。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

5. 現場技術員

本工事は、共通仕様書第 1 編 1－1－9 に規定している現場技術員を配置する。氏名等については、別に通知する。

6. 工事实績情報システム（コリンズ）への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

第 4 章 現場条件

1. 土質

本工事の施工場所の土質は、砂質土を想定している。

2. 関連工事

本工事に関連する工事（以下「関連工事」という。）として次に示す工事を予定しているので、監督職員及び関連する工事の責任者と十分連絡、協議し、工事工程に支障が生じないよう調整しなければならない。

番号	工事・業務名	施工予定時期
①	西国東海岸保全事業 2・3号排水樋門他建設工事	令和 5 年 3 月 20 日～令和 6 年 10 月 10 日
②	西国東海岸保全事業 2・3号排水機場ポンプ設備製作据付工事	令和 6 年 3 月 26 日～令和 8 年 3 月 5 日
③	西国東海岸保全事業 3号排水機場水槽部工事	令和 6 年 6 月 3 日～令和 7 年 3 月 4 日
④	西国東海岸保全事業 2・3号排水機场上屋建築工事（仮称）	令和 6 年 11 月～令和 7 年 7 月

⑤	西国東海岸保全事業 3号排水機場上屋建築工事（仮称）	令和7年2月～令和7年 7月
⑥	西国東海岸保全事業 2・3号排水樋門ゲート製作据付工事（仮称）	令和6年10月～令和7 年8月

3. 第三者に対する措置

（1）騒音、振動対策

騒音、振動等の対策については十分に配慮するとともに、地域住民と協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

（2）保安対策

本工事における交通誘導警備員は計上していないが、現地交通状況等により必要な場合は、監督職員と協議するものとする。

（3）営農対策

工事にあたっては、施工区域周辺農地の営農に支障がないように努めなければならない。

（4）防塵対策

防塵対策については十分に配慮するとともに、地域住民と協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

（5）関係者等との調整

本工事の施工に際しては、隣接地権者及び関係者と問題が生じないよう十分に調整を行わなければならない。

（6）現場搬入道路

国道213号からの現場搬入道路（工事関係者含む）は、図面に示す道路を使用しなければならない。

なお、一般の交通に支障をきたさないよう受注者の責任において維持管理を行わなければならない。

また、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第5章 指定仮設

1. 土取場、仮置場

（1）土取場、は図面に示す位置とし、その名称、搬出予定量は次のとおりである。

名称	地先名	搬出予定量	摘要
土取場1	豊後高田市西真玉地内	1,400m ³	土砂
土取場2	豊後高田市西真玉地内	475m ³	碎石

（2）建設発生土は図面に示す仮置場に運搬し、搬出予定量は次のとおりである。

名称	地先名	搬出予定量	摘要
仮置場	豊後高田市西真玉地内	180m ³	既設路盤材搬出 残土処理

（3）仮置場への搬入後は、バックホウ等による整地を行うものとする。

（4）仮置場の土砂は、将来的に農地の耕土として利用することを想定しているため、可能な限り

石材等を含む土砂とは区分するものとする。

第6章 工事用地等

発注者が確保している工事施工上必要な堤防敷地内の用地（以下「工事用地等」という。）は、図面に示すとおりである。

第7章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第8章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。

(1) 石材及び骨材

再生碎石 RC-40

(2) 鋼材

鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295 D16

鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19

(3) コンクリート

コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種類	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	水セメント 比 W/C (%)	セメントの 種類による 記号	使用目的
無筋コンクリート	18	8	25 (20)	65 以下	BB	裏法面被覆工
鉄筋コンクリート	21	12	40	60 以下	BB	波返工

(4) 目地及び止水材料

目地材 瀝青質板 t=10mm

止水板 塩化ビニル製 CF-200×5

(5) コンクリート二次製品

張ブロック 500mm×500mm t=100mm、200kg/m² 以上

(6) 再生加熱アスファルト混合物

再生密粒度アスコン (13) JIS K 2207

(7) その他

施工アンカー コンクリートアンカー用樹脂カプセル

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材料名	提出物
-----	-----

石材及び骨材	試験成績書等
コンクリート	試験成績書、配合表
鉄筋	ミルシート
目地及び止水材料	カタログ、試験成績書
張ブロック	カタログ、試験成績表
再生加熱アスファルト混合物	カタログ、試験成績書
その他材料	カタログ又は試験成績書等

3. 監督職員の検査または試験

次に示す工事用材料は、使用前に監督職員の検査を受けなければならない。

材料名	検査、試験項目	備考
コンクリート二次製品	寸法・外観	抽出検査

第9章 施工

1. 一般事項

(1) 水準点

本工事に使用する水準点は、別途監督職員が指示するものとする。

(2) 施工一般

施工途中において堤防に異常が認められた場合は、施工を中止して速やかに監督職員と協議しなければならない。

2. 再生資源等の利用

受注者は、次に示す再生資材を利用しなければならない。

なお、舗装材に使用する場合等には「舗装再生便覧」((公社)日本道路協会発行)等を遵守するものとする。

資材名	規格	備考
再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (13)	使用箇所：舗装工
再生砕石	RC-40	使用箇所：路盤工等

3. 建設資材廃棄物等の搬出

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

また、受注者は、その処理量等を監督職員に報告しなければならない。

建設資材 廃棄物	処理施設名	住所	受入時間	事業区分
伐採物	(株) 未来電力	大分県宇佐市大字 和気 1246-2	8時00分 ～17時00分	再資源化 施設業者
廃プラスチック類	中津ゆうび(有)	大分県中津市 植野 907	8時00分 ～17時00分	再資源化 施設業者

コンクリート殻 (無筋)	(株) 双子	大分県豊後高田市 草地 3301-1	8 時 00 分 ～17 時 00 分	再資源化 施設業者
アスファルト殻	(株) 双子	大分県豊後高田市 草地 3301-1	8 時 00 分 ～17 時 00 分	再資源化 施設業者
サンドアスファ ルト殻	宇佐開発 (株)	大分県宇佐市院内 町香下 1 9 9 0	8 時 00 分 ～17 時 00 分	再資源化 施設業者

4. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	②土工	土工 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	③基礎	基礎工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業併用
	⑥その他 (アスファルト・コン クリート塊)	その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業併用

5. 土工

(1) 掘削及び床掘

1) 掘削土及び床掘土は、埋戻に使用するほか、図面に示す仮置場へ搬出するものとする。

なお、流用が困難な場合は、監督職員と協議するものとする。

2) 既設路盤材は、図面に示す仮置場へ搬出するものとする。仮置場の路盤材は、コンクリートブロック張の裏込材に流用するものとする。

なお、裏込材への流用が困難な場合は、監督職員と協議するものとする。

3) 法面の崩落により他の施設に重大な影響が発生、またはそのおそれがある場合は、速やかに監督職員と協議しなければならない。

(2) 埋戻

埋戻土は、図面に示す建設発生土受入地の土砂（現場発生材）を流用するものとする。

(3) 盛土

盛土は、土取場の土を流用するものとし、最大乾燥密度の 90%以上となるよう締固めなければならない。なお、堤体盛土部の埋戻しは事前に締固め試験を実施し、試験結果に基づいて施工しなければならない

6. 構造物撤去工

- (1) 既設コンクリート、アスファルト舗装、サンドアスファルト殻及び防草シートの撤去に伴い発生するコンクリート殻、アスファルト殻、サンドアスファルト殻及び廃プラスチック類は、「第9章 施工 3. 建設資材廃棄物等の搬出」に示す処理施設へ搬出するものとする。
- (2) 防草シート撤去後は速やかに張ブロックで被覆するものとし、撤去後の状態で長期間存置してはならない。
- (3) 既設波返工の撤去後は、速やかに波返工の施工を行うものとする。撤去後の状態で荒天等起因する越波が予想される場合は、背後地被害の防止に対する臨機の措置について監督職員と協議し実施すること。

7. 波返工

- (1) 差し筋（施工アンカー）
 - 1) 差し筋の施工にあたっては、設置個所をハンマドリルで削孔し、孔内の粉塵等は取り除きアンカーの能力が最大限に発揮できるように入念に施工するものとする。
 - 2) 差し筋については、エポキシ樹脂塗装を行うものとする。
- (2) 止水板
止水板の施工にあたっては、めくれ、曲げが生じないようにまた、両側のコンクリートに均等に設置しなければならない。

8. 裏法面被覆工

- (1) 裏込工
裏込材は、仮置場の路盤材及び土取場2の碎石を使用するものとし、十分に締固めなければならない。
- (2) コンクリブロック張工
 - 1) コンクリートブロック張の施工上、法長の調整及び隅部の取付等で規格ブロックの使用が不適当な場合は、監督職員の承諾を得て現場打ちコンクリートで施工するものとする。
 - 2) コンクリートブロック張の割り付け図を作成し監督職員の承諾を得るものとする。

9. 基礎工

裏法面被覆工（天端コンクリート及び基礎コンクリート）の基礎碎石の締固めは、十分に締固めなければならない。

10. 舗装工

- (1) 路盤工
路盤は、再生碎石（RC-40）を敷均し、施工条件に合った機械で締固めなければならない。
- (2) アスファルト舗装工
 - 1) マーシャル試験の試験方法は、舗装の構造に関する技術基準同解説によるものとする。
表層工の施工にあたっては、プライムコート（アスファルト乳剤 PK-3）120 ㏩／100 m²以上を路盤面に均一に散布し表層との密着を図らなければならない。
 - 2) 表層工は、施工条件に合った敷均し機械により、再生加熱アスファルト混合物を敷均し、施工条件に合った機械で締固めなければならない。

第10章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者又は監理技術者の資格は、入札説明書による。

2. 施工管理

農林水産省農村振興局制定「土木工事施工管理基準」に定めのない追加の項目とその内容は、別紙2の1) 出来形管理基準、2) 品質管理基準及び3) 写真管理基準によるものとする。

3. 工事写真における黒板情報の電子化について

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得た上で黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「機器等」という。)は、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」及び「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。なお、上記1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案)6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に

URL (http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来型の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

第11章 条件変更の補足説明

本工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは設計

図書等に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- (1) 土質
- (2) 転石・湧水等の出現
- (3) 地下埋設物の出現
- (4) 第三者との協議結果に伴って変更が生じた場合
- (5) 現場状況等による施工範囲の変更
- (6) 遠隔確認の試行を行う場合
- (7) その他

第12章 その他

1. 契約後VE提案

(1) 定義

「VE提案」とは、工事請負契約書第19条の2の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) VE提案の意義及び範囲

- 1) VE提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- 2) ただし、次の提案は、VE提案の範囲に含めないものとする。
 - ア) 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - イ) 工事請負契約書第18条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案
 - ウ) 競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) VE提案書の提出

- 1) 受注者は、2)のVE提案を行う場合、次に掲げる事項をVE提案書（共通仕様書様式6-1～4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - ア) 設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由
 - イ) VE提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - ウ) VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - エ) 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - オ) 工業所有権を含むVE提案である場合、その取り扱いに関する事項
 - カ) その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項
- 2) 発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- 3) 受注者は、VE提案を契約締結の日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する日の35日前までに、発注者に提出できるものとする。
- 4) VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) VE提案の適否等

- 1) 発注者は、VE提案の採否について、原則として、VE提案を受領した日の翌日から14日以内に書面（共通仕様書 様式6-5）により通知するものとする。ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。
- 2) また、VE提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

- 3) VE 提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。
- 4) 発注者は、VE 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 19 条の 2（設計図書の変更に係る受注者の提案）の規定に基づくものとする。
- 5) 発注者は、VE 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 25 条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- 6) 前項の変更を行う場合においては、VE 提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の 10 分の 5 に相当する額（以下、「VE 管理費」という。）を削減しないものとする。
- 7) VE 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者が VE 提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
- 8) 発注者は、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第 25 条（請負代金額の変更方法等）第 1 項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。VE 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記 6）の VE 管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

（5）VE 提案書の使用

発注者は、VE 提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

（6）責任の所在

発注者が VE 提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE 提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

2. 電子納品

工事完成図書を共通仕様書第 1 編 1－1－37 に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・ 工事完成図書の電子媒体（CD-R、DVD-R 又は BD-R） 正副 2 部

3. 主任技術者等の専任期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。

また、現場への専任の期間については、契約工期が基本となるが、契約工期内であっても、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「合格通知書」における日付）とする。

4. ワンデーレスポンス実施に関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつま

でに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

なお、「その日のうち」とは午前に協議等が行われたものは、その日のうちに回答することを原則とし、午後に協議等が行われたものは、翌日中に回答するものとする。ただし、原則として閉庁日を除く。

5. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省 WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

(1) 工事円滑化会議（施工条件確認会議）

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事業所長、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注会社幹部に設計の考え方等を説明し、共有を図るものとする。なお、開催日程、出席者、課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(2) 工事円滑化会議（工程確認会議）

工事着手時および新工種発生時等において、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、主任監督員（主催）、監督員が、施工計画、工事工程等について確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(3) 設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督員と協議し定めるものとする。

(4) 対策検討会議

工事実施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに各地方農政局地方参事官（議長）・関係課職員、事業所長、次長、総括監督員、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策検討会議を開催することができるものとする。なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催する。

(5) 建設コンサルタントの出席

上記（１）、（２）、（３）及び（４）の会議に必要な応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の中の通信交通費に含まれるものと考えており、開催回数に関わらず変更契約の対象としない。

(6) 工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書 様式-42）に記録し、相互に確認するものとする。

6. 現場環境の改善の試行

本工事は、誰でも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア～サの仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- ア 洋式（洋風）便器
- イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- ウ 臭い逆流防止機能
- エ 容易に開かない施錠機能
- オ 照明設備
- カ 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等（耐荷重を 5 kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ サニタリーボックス
- コ 鍵と手洗器
- サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ 便房内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- ス 擬音装置（機能を含む）
- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化
- タ 室内温度の調整が可能な設備
- チ 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

（２）快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記（１）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】ア～カ及び【付属品として備えるもの】キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

（３）快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本項の対象外とする。

7. 現場環境改善費

（１）現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから 1 内容以上選択し合計 5 つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督職員と協議実施する。なお、内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

（２）以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。

（３）受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を督監職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	① 用水・電力等の供給設備 ② 緑化・花壇 ③ ライトアップ施設 ④ 見学路及び椅子の設置 ⑤ 昇降設備の充実 ⑥ 環境負荷の低減
営繕関係	① 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む。） ② 労働宿舍の快適化 ③ デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④ 現場休憩所の快適化 ⑤ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	① 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ② 盗難防止対策（警報器等） ③ 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	① 地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む。） ② 完成予想図 ③ 工法説明図 ④ 工事工程表 ⑤ デザイン工事看板（各工事PR看板含む。） ⑥ 見学会等の開催（イベント等の実施含む。） ⑦ 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧ パンフレット・工法説明ビデオ ⑨ 社会貢献

8. 週休2日による施工

（1）本工事は、週休2日に取り組むことを前提として、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）及び現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。受注者は、契約後、週休2日による施工を行わなければならない。

なお、受注者の責によらない現場条件、気象条件等により週休2日相当の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

（2）「週休2日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4週8休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、ここでいう対象期間及び現場閉所の具体的な内容は次のとおりである。

1）対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏期休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

2）現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検、巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。

3）降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

（3）週休2日（4週8休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。

1）受注者は、契約後、週休2日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。

2) 受注者は、週休2日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。

なお、週休2日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。

3) 監督職員は、上記受注者からの報告により週休2日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。

4) 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあるれば、受注者から上記2)の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。

5) 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。

(4) 監督職員が週休2日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。

(5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正する。

1) 補正係数

	4週8休以上 〔現場閉所率 28.5%(8日/28日)以上〕
労務費	1.02
機械経費（賃料）	1.02
共通仮設費（率分）	1.02
現場管理費（率分）	1.05

2) 補正方法

当初積算において4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。なお、発注者は、工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、工事請負契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記1)に示す補正係数による補正を行わずに減額変更する。

また、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成15年2月19日付け14地第759号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）別紙8（事業（務）所長用）に示す「7. 法令遵守等」において、点数10点を減ずるものとする。

(6) 週休二日の確保に取り組む工事において、市場単価方式・土木工事標準単価による積算に当たっては、現場閉所状況に応じて、以下のとおり補正する。

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	補正係数
		4週8休以上
鉄筋工		1.02

土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	補正係数
		4週8休以上
構造物取り壊し工	機械	1.02

9. 週休2日制の促進

- (1) 本工事は、週休2日制を促進するため、現場閉所状況に応じて工事成績要領に基づく工事成績評価において加点評価を行うとともに、週休2日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。
- (2) 発注者は、現場閉所状況が月単位で4週8休以上（現場閉所率 28.5%（8日/28日）以上）と確認した場合は、工事成績評価において加点評価するものとする。ただし、工事成績評価の合計は100点を超えないものとする。また、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、工事成績評価の点数を10点減ずることとする。なお、加点評価に当たっては、以下のとおりとする。
- 1) 他の模範となるような受注企業の働き方改革に係る取組を本工事において実施した場合は、工事成績要領別紙5に示す「4. 創意工夫」に、次の評価項目を追加した上で最大2点を加点評価する。なお、複数事項への取組や実施状況の内容に応じて1点、2点で評価する。

○監督職員用

【働き方改革】

- ☐ 月単位の週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。
- ☐ 若手や女性技術者の登用など、担い手の確保に向けた取組が図られている。

- 2) 現場閉所による月単位の週休2日相当（4週8休以上）が達成した場合は、工事成績要領別紙3-1に示す「2. 施工状況（Ⅱ工程管理）」に、次の2つの評価項目を追加し、両方で加点評価する。ただし、月単位の週休2日に満たない場合は、「休日の確保を行った。」のみを評価する。

○監督職員用

- ☐ 休日の確保を行った。
- ☐ その他〔理由：現場閉所により月単位の週休2日（4週8休以上）の確保を行った。〕

○事業（務）所長用

- ☐ 工程管理に係る積極的な取組が見られた。
- ☐ その他〔理由：現場閉所により月単位の週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。〕

- 3) 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成したことに加え、対象期間内の全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った場合は、工事成績要領別紙8に示す「7. 法令遵守等」に次の評価項目を追加した上で、1点を加点評価する。

○事業（務）所長用

- ☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行ったとともに、全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った。〕

- (3) 監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率 28.5%（8日/28日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

10. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。
- (2) 用語の具体的な内容は次のとおりである。

1) 真夏日

日最高気温が30℃以上の日をいう。

2) 工期

準備・後片付け期間を含めた工期をいう。なお、8月を挟む工事では夏期休暇分として土日以外の3日間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

3) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$$

(3) 受注者は、工事着手前に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載した施工計画書を作成し、監督職員へ提出する。

(4) 気温の計測方法については、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。

なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上となる日を真夏日と見なす。

ただし、これによりがたい場合は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所以外の気象観測所で気象業務法(昭和27年法律第165号)に基づいた気象観測方法により得られた計測結果を用いることも可とする。

(5) 受注者は、監督職員へ計測結果の資料を提出する。

(6) 発注者は、受注者から提出された計測結果の資料を基に工期中の日最高気温から真夏日率を算定した上で補正値を算出し、現場管理費率に加算し設計変更を行うものとする。

$$\text{補正値}(\%) = \text{真夏日率} \times \text{補正係数}(1.2)$$

11. 総価契約単価合意方式(包括的単価個別合意方式)について

(1) 本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式(包括的単価個別合意方式)の対象工事である。

(2) 受発注者間で作成のうえ合意した単価合意書は、公表するものとする。

12. 地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更について

(1) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す経費(以下「実績変更対象経費」という。)について、工事施工にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

(2) 発注者は、契約締結後、受注者から請負代金内訳書の提出があった場合、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合(以下「割合」という。)を提示する。

(3) 受注者は、契約締結後、(2)により発注者から示された割合を参考にして、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する実施計画書(以下「様式2」という。)を作成し、監督職員に提出するものとする。

(4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する変更実施計画書(以下「様式3」という。)を作成するとともに、様式3に記載した計上額が証明できる書類(領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書)を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象

としない。

- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「積算基準に基づき算出額した額」から「様式2に記載された共通仮設費（率分）と現場管理費の合計額」を差し引いた後、「(4)で受注者から提出された証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

13. 1日未満で完了する作業の積算

- (1) 本工事における1日未満で完了する作業の積算（以下、「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要となる根拠資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (5) 災害復旧工事等で人工精算する場合や、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

14. 共通仮設費率分の適切な設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
 - 運搬費：建設機械の運搬費
 - 準備費：伐開・除根・除草費
- (2) 発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という。）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」から「算定基準に基づき算出した額」を差し引いて算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。

(8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

15. 建設副産物の取扱に係る補足

共通仕様書 1 - 1 - 2 建設副産物の記載について、以下のとおり補足する。

(1) 受領書の交付

受注者は、土砂を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

(2) 再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等

受注者は、再生資源利用促進計画の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土砂の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壤汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。

また、確認結果は再生資源利用促進計画に添付するとともに、工事現場において公衆の見えやすい場所に掲げなければならない。

(3) 建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするときは、再生資源利用促進計画に記載した事項（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と（2）再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等で行った確認結果を委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

(4) 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提出しなければならない。

第 13 章 定めなき事項

この仕様書に定めなき事項、又は本工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 期 通 知 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(分任) 支出負担行為担当官
〇〇 〇〇 様

住所
商号又は名称
氏名

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	〇 〇 〇 〇 工 事
工 事 場 所	〇 〇 県 〇 〇 市 〇 〇
契約予定年月日	令和 年 月 日
工 事 の 始 期	令和 年 月 日
工 期	工 事 の 始 期 から (〇〇〇日間) 令和 年 月 日 まで

※契約の締結までに提出すること。
※契約書には本通知書により通知した工期（工事の始期及び終期）を記載する。

実績変更対象経費に関する実施計画書

費目		費用	内容	計上額
共 通 仮 設 費	営繕費	借上額	現場事務所、試験室、労働者 宿舎、倉庫及び材料保管場所 等の敷地借上げに要する地代 及びこれらの建物を建築する 代わりに貸しビル、マンショ ン、民家等を長期借上げする 場合に要する費用	
		宿泊費	労働者が、旅館又はホテル等 に宿泊する場合に要する費用	
		労働者送 迎費	労働者をマイクロバス等で 日々当該現場に送迎輸送（水 上輸送を含む。）をするために 要する費用（運転手賃金、車 両損料及び燃料費等を含む。）	
	小計			
現 場 管 理 費	労 務 管 理 費	募集及び 解散に要 する費用	労働者の赴任手当、労働者の 帰省旅費及び帰省手当	
		賃金以外 の食事、 通勤等に 要する費 用	労働者の食事補助及び交通費 の支給	
	小計			
合計				

実績変更対象経費に関する変更実施計画書

費目		費用	内容	計上額 (当初)	計上額 (変更)	差額
共通 仮設 費	営繕 費	借上費	現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫及び材料保管場所等の敷地借上げに要する地代及びこれらの建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げする場合に要する費用			
		宿泊費	労働者が、旅館又はホテル等に宿泊する場合に要する費用			
		労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送（水上輸送を含む。）をするために要する費用 （運転手賃金、車両損料及び燃料費等を含む。）			
	小計					
現場 管理 費	労務 管理 費	募集及び解散に要する費用	労働者の赴任手当、労働者の帰省旅費及び帰省手当			
		賃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助及び交通費の支給			
	小計					
合計						

(様式4)

実績変更対象経費に関する内訳書

費目		費用	内容	計上額
共通仮設費	運搬費	建設機械の運搬費	建設機械の運搬等に要する費用	
	準備費	抜開・除根・除草費	準備作業に伴う伐開、除根、除草作業に要する費用	
合 計				

令和 5 年度

西国東海岸保全事業

第 3 工区堤防法面被覆工事

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接工事費（仮設工を除く）				
1. 土工				
（1）掘削工				
床掘り	【上段道路】既設路盤材 撤去	式	1	
床掘り	【中段道路】既設路盤材 撤去	式	1	
（2）盛土工				
路体（築堤）盛土・埋戻	築堤、B≧4.0m、流用材	m ³	1,000	
流用土盛土	B<1.0m、流用材	m ³	380	
（3）整形仕上げ工				
法面整形	【上段法面】盛土部	m ²	1,350	
2. 構造物撤去工				
（1）構造物取壊し工				
コンクリート構造物取壊し	波返工	m ³	95	
舗装版切断	【中段As舗装】掘削部	m	297	
舗装版破砕	【上段As舗装】 t=15cm以下	m ²	1,365	
舗装版破砕	【中段As舗装】 t=15cm以下	m ²	208	
舗装版破砕	【法面上段】サンドアス ファルト、 t=15cm以下	m ²	1,858	
殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）	As殻（既設舗装版）	m ³	88	
殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）	サンドアスファルト殻 （法面舗装）	m ³	130	
殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）	コンクリート殻（波返 工）	m ³	95	
3. 波返工				
（1）波返工				
コンクリート	21-12-40 BB	m ³	410	
鉄筋	D19	ton	8.61	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
鉄筋	D16	ton	2.60	
型枠		式	1	
型枠	円形型枠	式	1	
目地板	瀝青質板 t=10mm	m ²	44	
止水板	CF200mm×5mm	m	51.2	
差し筋（施工アンカー）	D19 L=770mm	本	759.000	
4. 裏法面被覆工				
（1）作業土工				
床掘り	【法面上段】基礎コン部	m ³	220	
基面整正	【法面上段】基礎コン部	m ²	180	
埋戻	【法面上段】基礎コン部	式	1	
（2）天端コンクリート工	【法面上段】天端コンクリート			
コンクリート		m ³	23.000	
型枠		式	1	
基礎砕石	RC-40、t=15cm	m ²	149.000	
目地材	瀝青質板、t=10mm	m ²	3.000	
（3）基礎コンクリート工	【法面上段】基礎コンクリート			
コンクリート		m ³	45.000	
型枠		式	1	
基礎砕石	RC-40、t=15cm	m ²	178.000	
目地材	瀝青質板、t=10mm	m ²	5.000	
（4）防草シート撤去工	【法面下段】			
防草シート撤去工		m ²	1,930.000	
殻運搬・処理（産業廃棄物処分費）	廃プラスチック類	ton	0.260	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
既設土のう撤去	【法面下段】防草シート 押え土のう	m	297.000	
(5)コンクリートブロック張工	【法面上段】			
ブロック張工（空張）	【法面上段】500mm× 500mm t=10cm	m ²	1,687.000	
裏込工	【法面上段】流用材（仮 置場）、t=30cm	m ³	475.000	
(6)コンクリートブロック張工	【法面下段】			
ブロック張工（空張）	【法面下段】	m ²	1,930.000	
5. 付帯道路工				
(1)アスファルト舗装工				
上層路盤（車道・路肩部）	【上段道路】RC-40、 t=230mm	m ²	1,239	
上層路盤（車道・路肩部）	【中段道路】掘削部、RC- 40、t=200mm	m ²	208	
表層（車道・路肩部）	【上段道路】As舗装（上 段）、t=30mm	m ²	1,239	
表層（車道・路肩部）	【中段道路】As舗装、 t=30mm	m ²	208	
直接工事費（仮設工）				
1. 仮設工				
(1)足場工				
足場工	単管足場	式	1	
2. その他				
(1)準備費				
共通仮設（積上げ）				
準備費				
木根等処分	【法面上段、下段】	空m ³	61.000	

令和5年度西国東海岸保全事業
第3工区堤防法面被覆工事

縮小図面

九州農政局西国東海岸保全事業所

令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面被覆工事			
図 面 目 録			
図面番号	名 称	枚 数	備 考
1	位 置 図	1	
2	全 体 平 面 図	1	
3	平 面 図	2	
4	標 準 断 面 図	1	
5	横 断 図	4	
6	撤 去 図	1	
7	波 返 工 構 造 図	1	
計		11	

位置図



土取場1
仮置場
施工終点
No. 8+36.60
施工始点
No. 2+39.60
土取場2

豊後高田市



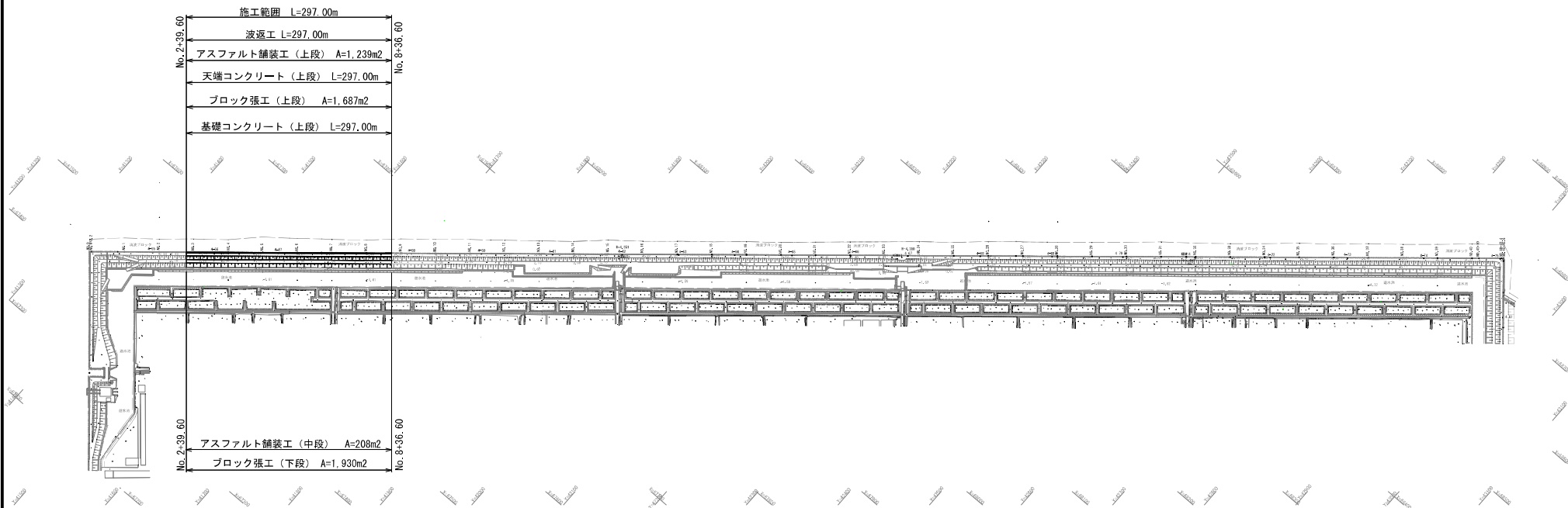
※特別仕様書第6章の工事用地等は、既存の海岸保全区域内の用地である。
(斜線部 既存の海岸保全区域内は、波返しより、遊水池陸側までである。)

凡 例	
	施 工 対 象
	現 場 搬 入 道 路
	排 水 樋 門
	排 水 機 場

工 事 名	令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面被覆工事		
図 面 名	位置図		
作成年月日	—		
縮 尺	—	図面番号	1
会 社 名	—		
事業所名	九州農政局 西国東海岸保全事業所		

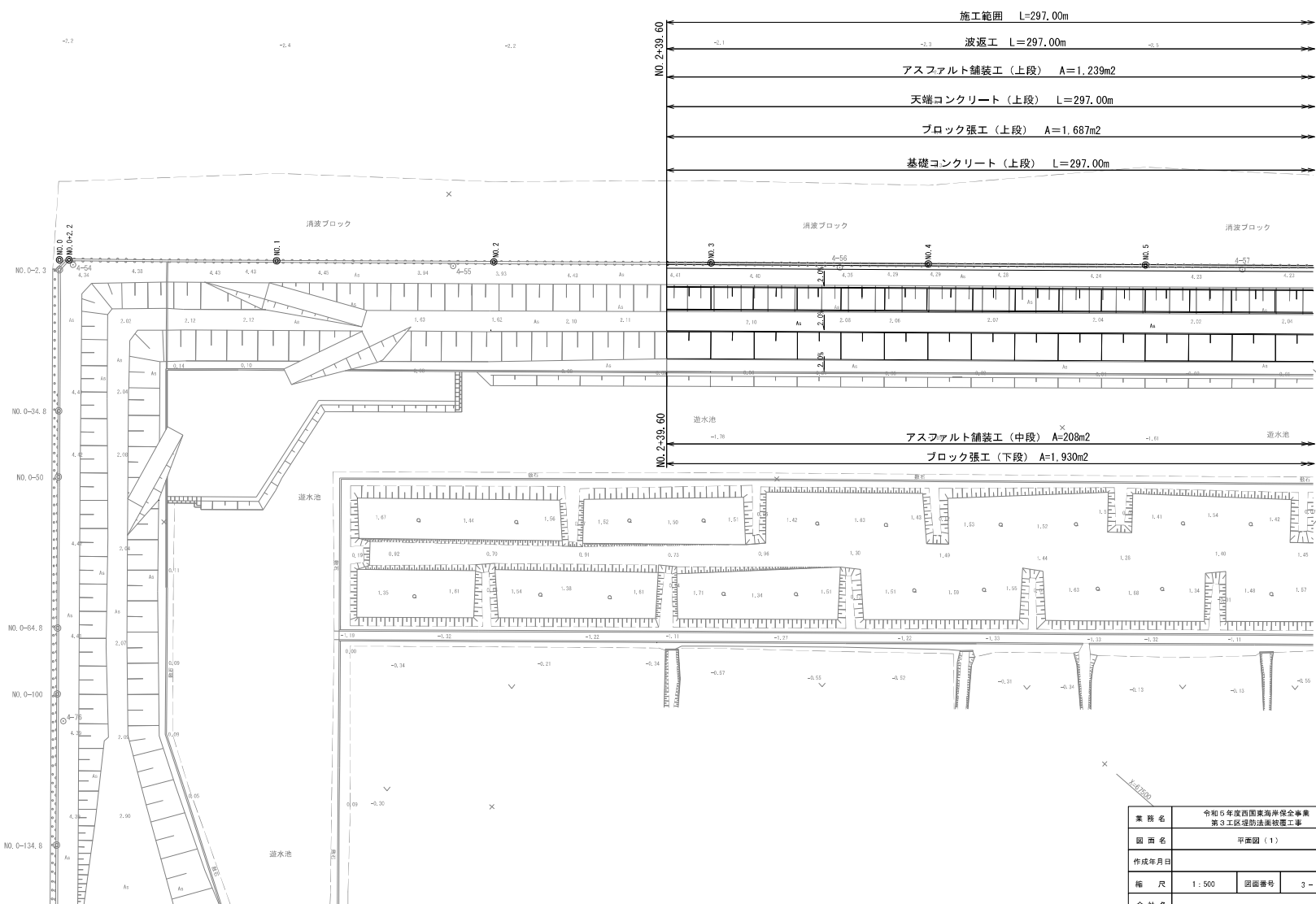
0 225 450 900 1,350 1,800 2,250メートル

全体平面図 S=1:3000



工 事 名	令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面敷設工事		
図 面 名	全体平面図		
作成年月日			
尺 度	1:3000	図面番号	2
会 社 名			
事業所名	九州建設局 西国東海岸保全事業所		

平面図 (1) S=1:500

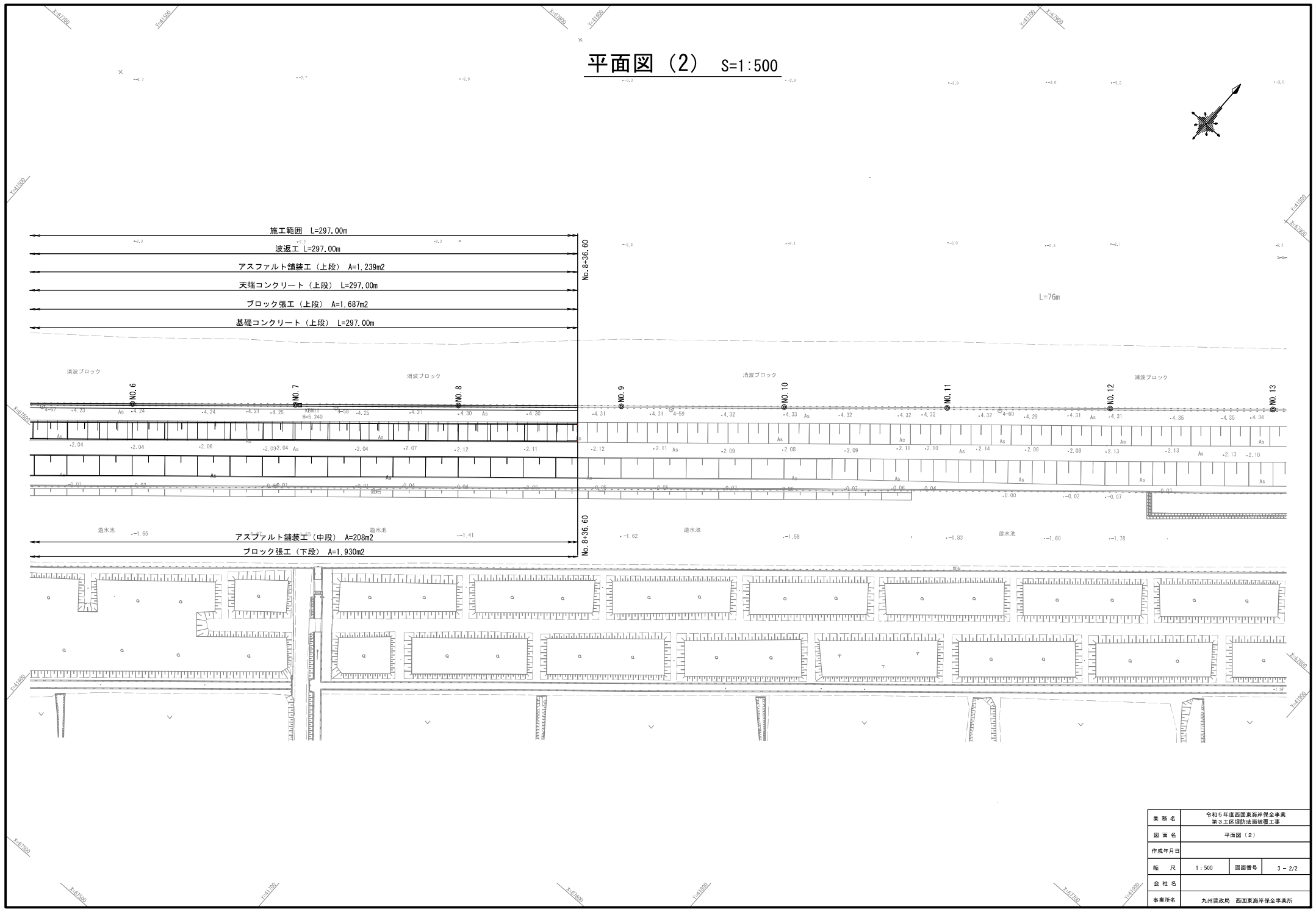


- 施工範囲 L=297.00m
- 波返工 L=297.00m
- アスファルト舗装工 (上段) A=1,239m²
- 天端コンクリート (上段) L=297.00m
- ブロック張工 (上段) A=1,687m²
- 基礎コンクリート (上段) L=297.00m

- アスファルト舗装工 (中段) A=208m²
- ブロック張工 (下段) A=1,930m²

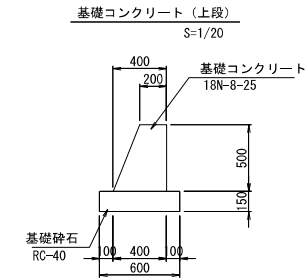
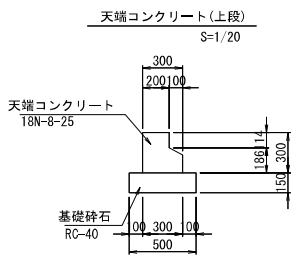
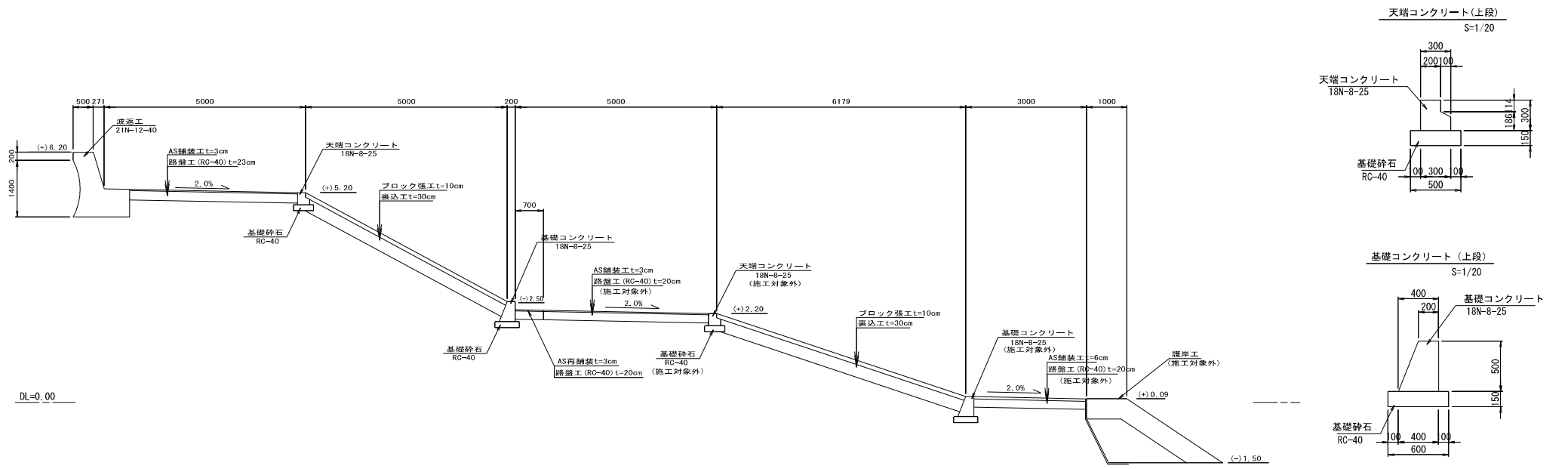
業 務 名	令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面整備工事		
図 面 名	平面図 (1)		
作成年月日			
縮 尺	1:500	図面番号	3 - 1/2
会 社 名			
事業所名	九州建設局 西国東海岸保全事業所		

平面図 (2) S=1:500



業務名	令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面被覆工事		
図面名	平面図 (2)		
作成年月日			
概尺	1:500	図面番号	3 - 2/2
会社名			
事業所名	九州建設局 西国東海岸保全事業所		

標準断面図 S=1/50



※目地材(源青質板 t=10mm)の間隔は10mを基本とする

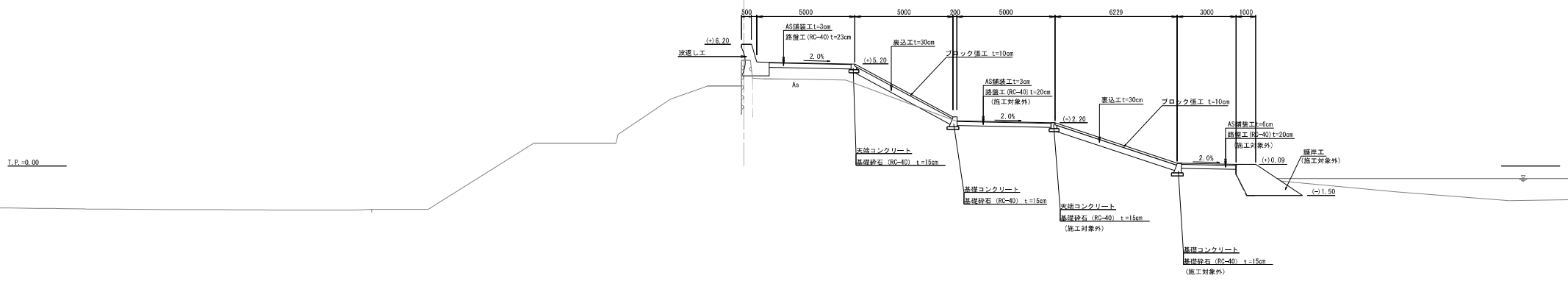
業務名	令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面被覆工事(仮称)		
図面名	標準断面図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	4
会社名			
事業所名	九州豊政局 西国東海岸保全事業所		

横断図(1)

NO. 2+39.60~No. 3

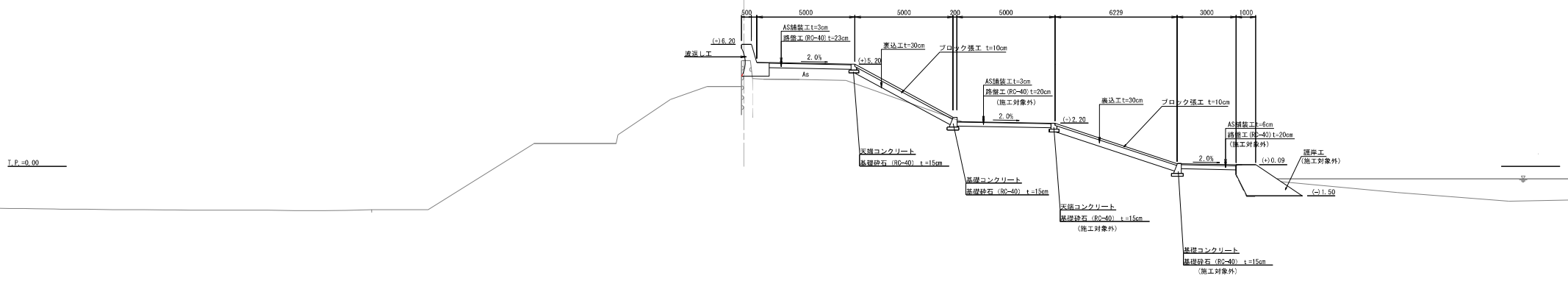
NO. 3

GH= 5.38
FH=



NO. 2+39.60

GH= 5.38
FH=



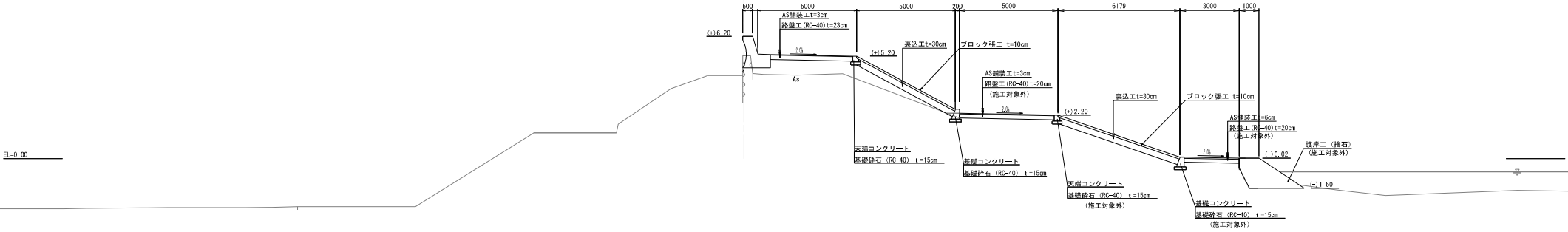
工事名	令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面被覆工事		
図面名	横断面(1)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	5-1/4
会社名			
事業者名	九州建設局 西国東海岸保全事業所		

横断図(2)

No. 4~No. 5

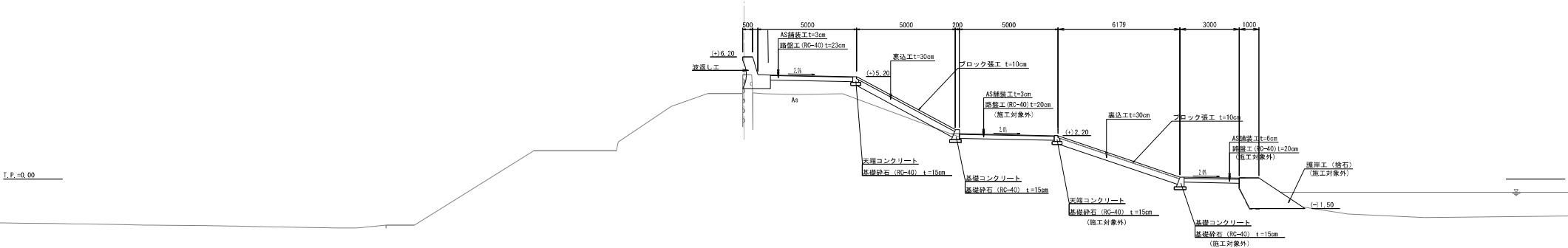
NO. 5

GH= 5.21
FH=



NO. 4

GH= 5.30
FH=



工 事 名	令和5年度西国南海岸保全事業 第3工区堤防法面被覆工事		
図 面 名	横断面(2)		
作成年月日			
縮 尺	1:100	図面番号	5-2/4
会 社 名			
事業所名	九州農政局 西国東海岸保全事業所		

No. 6~No. 7

NO. 7
GH= 5.23
 FH=

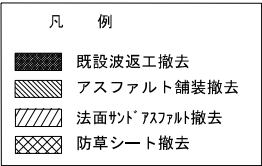


NO. 6
GH= 5.21
 FH=



工 事 名	令和 5 年度西国東海岸保全事業 第 3 工区堤防法面被覆工事		
図 面 名	横断面 (3)		
作成年月日			
縮 尺	1 : 100	図面番号	5-3/4
会 社 名			
事業所名	九州震政局 西国東海岸保全事業所		

S=1 : 500

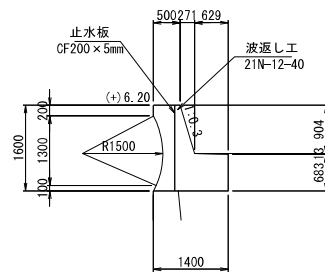


工 事 名	令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面被覆工事		
図 面 名	撤去図		
作成年月日			
尺 度	1 : 500	図面番号	6
会 社 名			
事業所名	九州農政局 西国東海岸保全事業所		

波返工構造図 S=1 : 50

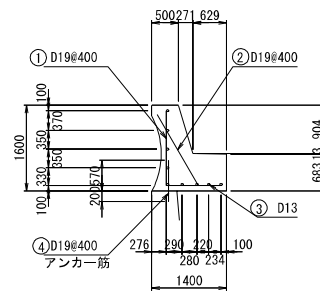
標準断面図

S=1 : 50



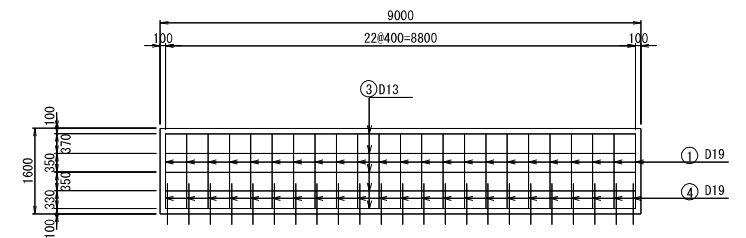
断面図

S=1 : 50



正面图

S=1 : 50



工 事 名	令和5年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防法面被覆工事		
図 面 名	波返工構造図		
作成年月日			
縮 尺	1 : 50	図面番号	7
会 社 名			
事業所名	九州農政局 西国東海岸保全事業所		